
下野市総合計画後期基本計画策定に係る
市民意識調査結果報告書

平成 22 年 12 月

下 野 市

目 次

調査の概要.....	1
調査内容.....	1
回答者の属性.....	2
調査結果.....	4
A 本市の暮らしやすさ	4
B 本市の長所・特徴.....	15
C これまでの市の取り組みに対する満足度	24
D 今後の行政と市民との関係のあり方について	34
E 今後の市（行政）の取り組みについて	43
F 自由回答.....	57
参考：調査票	66

調査の概要

調査内容

- ・ 調査対象
20歳以上の下野市民 10,000人
- ・ 調査方法
郵送による配布・回収
- ・ 調査期間
平成22年8月17日から平成22年8月31日
- ・ 回収状況
配布数 10,000 回収票数 3,621 回収率 36.2%
- ・ 調査項目
 - A 本市の暮らしやすさ
 - 問1 下野市の暮らしやすさ
 - 問2 下野市の現状についての評価
 - B 本市の長所・特徴
 - 問3 下野市の他地域の人々に対して誇れるところ
 - 問4 下野市の特徴的な活動や資源などで他地域の人々に対して誇れるところ
 - C これまでの市（行政）の取り組みに対する満足感
 - 問5 市（行政）の取り組みに対する満足感
 - D 今後の行政と市民との関係のあり方について
 - 問6 公共サービスを受けるなどの「権利」と、市民としての「義務」との関係
 - 問7 ボランティアやコミュニティ活動についての関心
 - E 今後の市（行政）の取り組みについて
 - 問8 今後力を入れて欲しい行政施策
 - F 自由回答
 - 問9 市の行政施策についての自由なご意見・ご提案
 - G 属性
 - 問10 性別
 - 問11 年齢
 - 問12 居住地区
 - 問13 居住年数

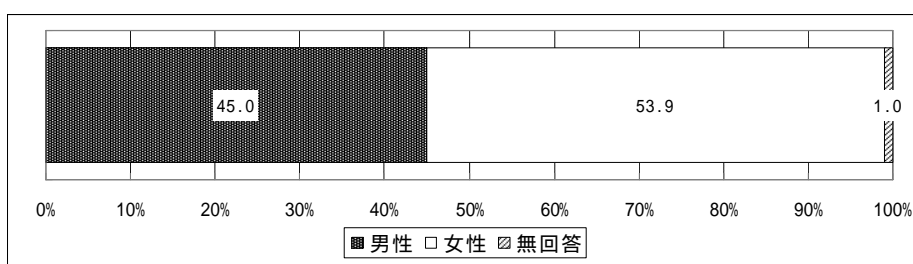
回答者の属性

< 性別 >

(単位：人、%)

	調査数	男性	女性	無回答
回答者数	3,621	1,631	1,952	38
割合	100	45.0	53.9	1.0

(注) 四捨五入の影響から内訳と計が一致しない場合がある。以下同様。

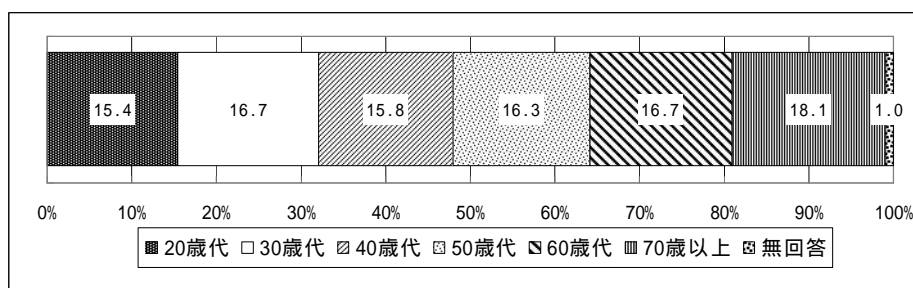


(n=3,621)

< 年齢 >

(単位：人、%)

	調査数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
回答者数	3,621	559	604	571	592	603	654	38
割合	100	15.4	16.7	15.8	16.3	16.7	18.1	1.0

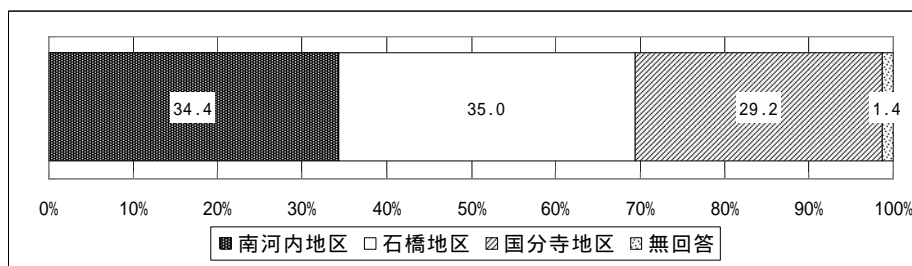


(n=3,621)

< 居住地区 >

(单位 : 人、%)

	調査数	南河内地区	石橋地区	国分寺地区	無回答
回答者数	3,621	1,246	1,267	1,059	49
割合	100	34.4	35.0	29.2	1.4

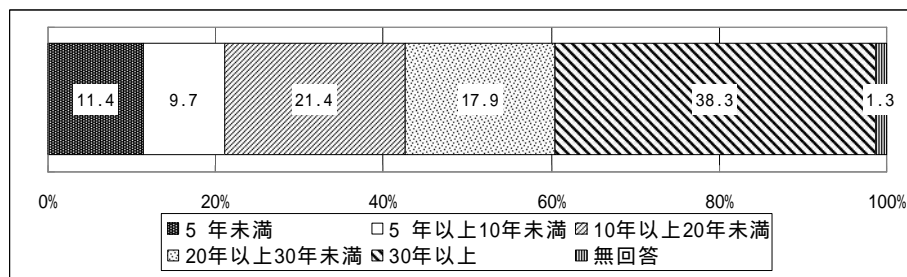


(N=3,621)

< 居住年数 >

(单位 : 人、%)

	調査数	5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	無回答
回答者数	3,621	414	350	774	649	1,388	46
割合	100	11.4	9.7	21.4	17.9	38.3	1.3



(n=3,621)

調査結果

A 本市の暮らしやすさ

問1 . 下野市の暮らしやすさ

下野市における暮らしやすさをうかがったところ、表1 - 1、図1 - 1のようになりました。「暮らしやすい」「どちらかという暮らしやすい」を合わせた回答の割合をみると、約7割（72.6%）の人が暮らしやすさを感じていることが分かります。

次に、「どちらかという暮らしにくい」「暮らしにくい」を合わせた回答の割合をみると、約1割（9.6%）の人が暮らしにくさを感じています。

<年代別>

下野市における暮らしやすさを年代別にみると、表1 - 2、図1 - 2のようになりました。「暮らしやすい」「どちらかという暮らしやすい」を合わせた回答の割合をみると、年代によらず約7割の人が暮らしやすさを感じていることが分かります。

「どちらかという暮らしにくい」「暮らしにくい」を合わせた回答の割合をみると、年代によらず約1割の人が暮らしにくさを感じていることが分かります。

<地区別>

下野市における暮らしやすさを地区別にみると、表1 - 3、図1 - 3のようになりました。「暮らしやすい」「どちらかという暮らしやすい」を合わせた回答の割合をみると、地区によらず約7割の人が暮らしやすさを感じていることが分かります。

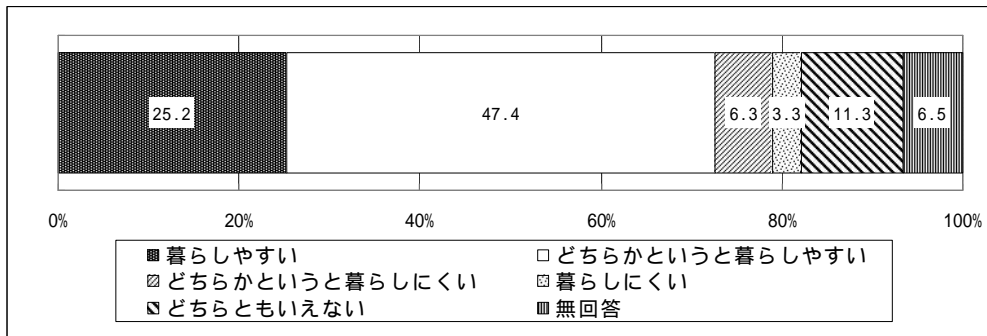
「どちらかという暮らしにくい」「暮らしにくい」を合わせた回答の割合をみると、地区によらず約1割の人が暮らしにくさを感じていることが分かります。

問1 あなたにとって、下野市は暮らしやすいまちですか。次の中から1つ選び、その番号を で囲んでください。

表 1 - 1 下野市の暮らしやすさ (単位：人、%)

	調査数	暮らしやすい	どちらかという暮らしやすい	どちらかという暮らしにくい	暮らしにくい	どちらともいえない	無回答
回答者数	3,621	911	1,716	229	121	410	234
割合	100	25.2	47.4	6.3	3.3	11.3	6.5

図 1 - 1 下野市の暮らしやすさ



(n=3,621)

表1 - 2 年代別にみた下野市の暮らしやすさ

(単位：人、%)

	調査数	暮らしやすい	どちらかという暮らしやすい	どちらかという暮らしにくい	暮らしにくい	どちらともいえない	無回答
全体	3,621 100	911 25.2	1,716 47.4	229 6.3	121 3.3	410 11.3	234 6.5
20歳代	559 100	145 25.9	246 44.0	41 7.3	26 4.7	56 10.0	45 8.1
30歳代	604 100	149 24.7	286 47.4	37 6.1	25 4.1	68 11.3	39 6.5
40歳代	571 100	147 25.7	268 46.9	40 7.0	21 3.7	57 10.0	38 6.7
50歳代	592 100	129 21.8	310 52.4	43 7.3	17 2.9	64 10.8	29 4.9
60歳代	603 100	133 22.1	312 51.7	36 6.0	15 2.5	79 13.1	28 4.6
70歳以上	654 100	196 30.0	278 42.5	31 4.7	17 2.6	81 12.4	51 7.8

図1 - 2 年代別にみた下野市の暮らしやすさ

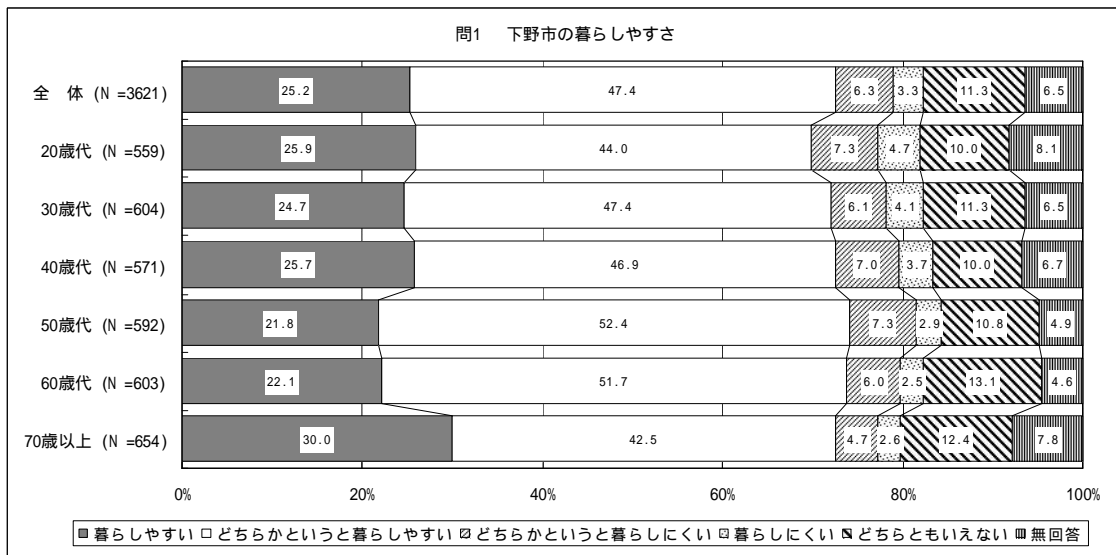
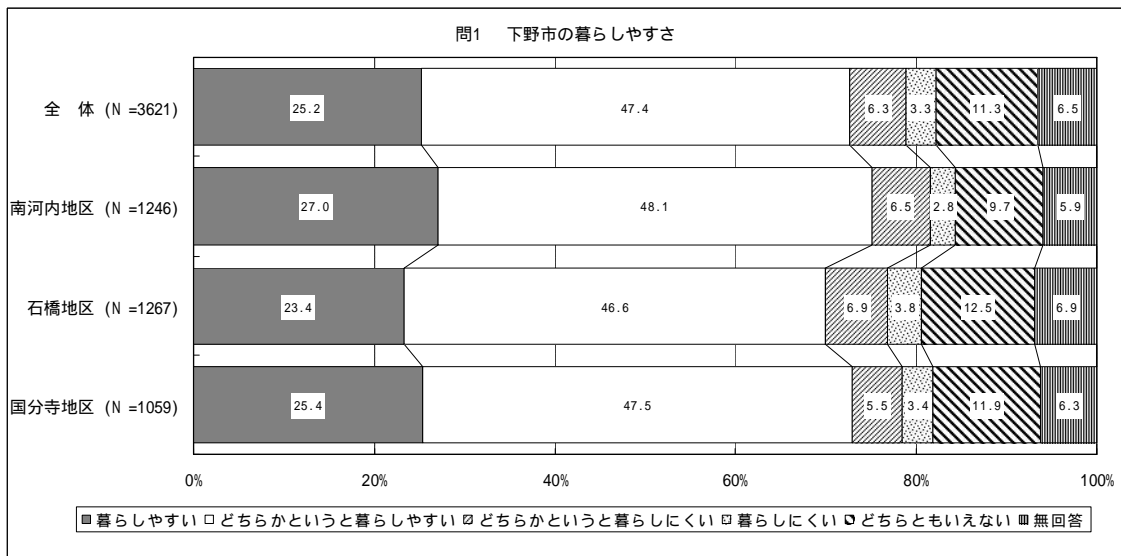


表 1 - 3 地区別にみた下野市の暮らしやすさ

(単位：人、%)

	調査数	暮らしやすい	どちらかという暮らしやすい	どちらかという暮らしにくい	暮らしにくい	どちらともいえない	無回答
全 体	3,621 100	911 25.2	1,716 47.4	229 6.3	121 3.3	410 11.3	234 6.5
南河内地区	1,246 100	336 27.0	599 48.1	81 6.5	35 2.8	121 9.7	74 5.9
石橋地区	1,267 100	296 23.4	591 46.6	87 6.9	48 3.8	158 12.5	87 6.9
国分寺地区	1,059 100	269 25.4	503 47.5	58 5.5	36 3.4	126 11.9	67 6.3

図 1 - 3 地区別にみた下野市の暮らしやすさ



問2 . 下野市の現状についての評価

下野市の現状に対する評価をうかがったところ、表2 - 1、図2 - 1のようになりました。「**13 . 医療や福祉環境が充実しており、健康に暮らせる**」が67.5%と、評価している割合が最も高く、次いで「**11 . 河川や平地林、公園・緑地など自然環境が豊かである**」が64.7%、「**12 . 公害が少なく、環境保全ができています**」が62.7%の順になっています。

次に、「**あまりそう思わない**」「**そう思わない**」を合わせた回答の割合を項目ごとに比較すると、「**5 . 商店や飲食店が魅力的である**」において最も高く、約6割(56.4%)の人が評価をしていないと分かります。次いで、「**7 . 市内企業の事業活動が活発である**」が46.9%、「**16 . 本市が他地域の人々に認知されている**」が42.5%、「**3 . 文化や芸術に触れる機会に恵まれている**」が39.3%の順になっています。

<年代別>

下野市の現状に対する評価を年代別にみると、表2 - 2、表2 - 3のようになりました。評価が最も高いのは20歳代を除くすべての年代で、「**13 . 医療や福祉環境が充実しており、健康に暮らせる**」で、20歳代でも2番目にあげられています。また、「**11 . 河川や平地林、公園・緑地など自然環境が豊かである**」は20歳代では最も高く、30歳代、40歳代、50歳代では2番目にあげられています。一方、60歳代、70歳以上のような比較的高い年代では「**14 . 災害、犯罪が少なく安全・安心である**」が2番目にあげられています。さらに、3番目にあげられるのはすべての年代において、「**12 . 公害が少なく、環境保全ができています**」ことがあげられています。

低評価を年代別にみると、20歳代を除くすべての年代で「**5 . 商店や飲食店が魅力的である**」ことへの評価が最も低くなっています。次いで、「**7 . 市内企業の事業活動が活発である**」が2番目にあげられています。さらに、「**16 . 本市が他地域の人々に認知されている**」が30歳代から70歳以上で3から4番目にあがっている一方で、20歳代では1番目にあがっています。その他、「**3 . 文化や芸術に触れる機会に恵まれている**」「**17 . 行政サービスが充実している**」等が5番目以内にあがっています。

<地区別>

下野市の現状に対する評価を地区別にみると、表2 - 4、表2 - 5のようになりました。評価が最も高いのは南河内地区、石橋地区では「**13 . 医療や福祉環境が充実しており、健康に暮らせる**」で、国分寺地区でも2番目にあげられています。特に、南河内地区では、評価指数も他の地域に比べて高くなっています。国分寺地区では「**11 . 河川や平地林、公園・緑地など自然環境が豊かである**」が最も高く、南河内地区でも2番目、石橋地区でも4番目にあげられています。この他、「**14 . 災害、犯罪が少なく安全・安心である**」「**1**

2. 公害が少なく、環境保全ができています」ことがあげられています。さらに、石橋地区、国分寺地区では「10. 交通の便がよい」ことが5番目にあげられています。

低評価を年代別にみると、石橋地区、国分寺地区では「5. 商店や飲食店が魅力的である」ことへの評価が最も低くなっています。また、「7. 市内企業の事業活動が活発である」が南河内地区では1番目、石橋地区、国分寺地区では2番目にあげられています。この他、「16. 本市が他地域の人々に認知されている」、「3. 文化や芸術に触れる機会に恵まれている」、「17. 行政サービスが充実している」等が5番目以内にあげられています。

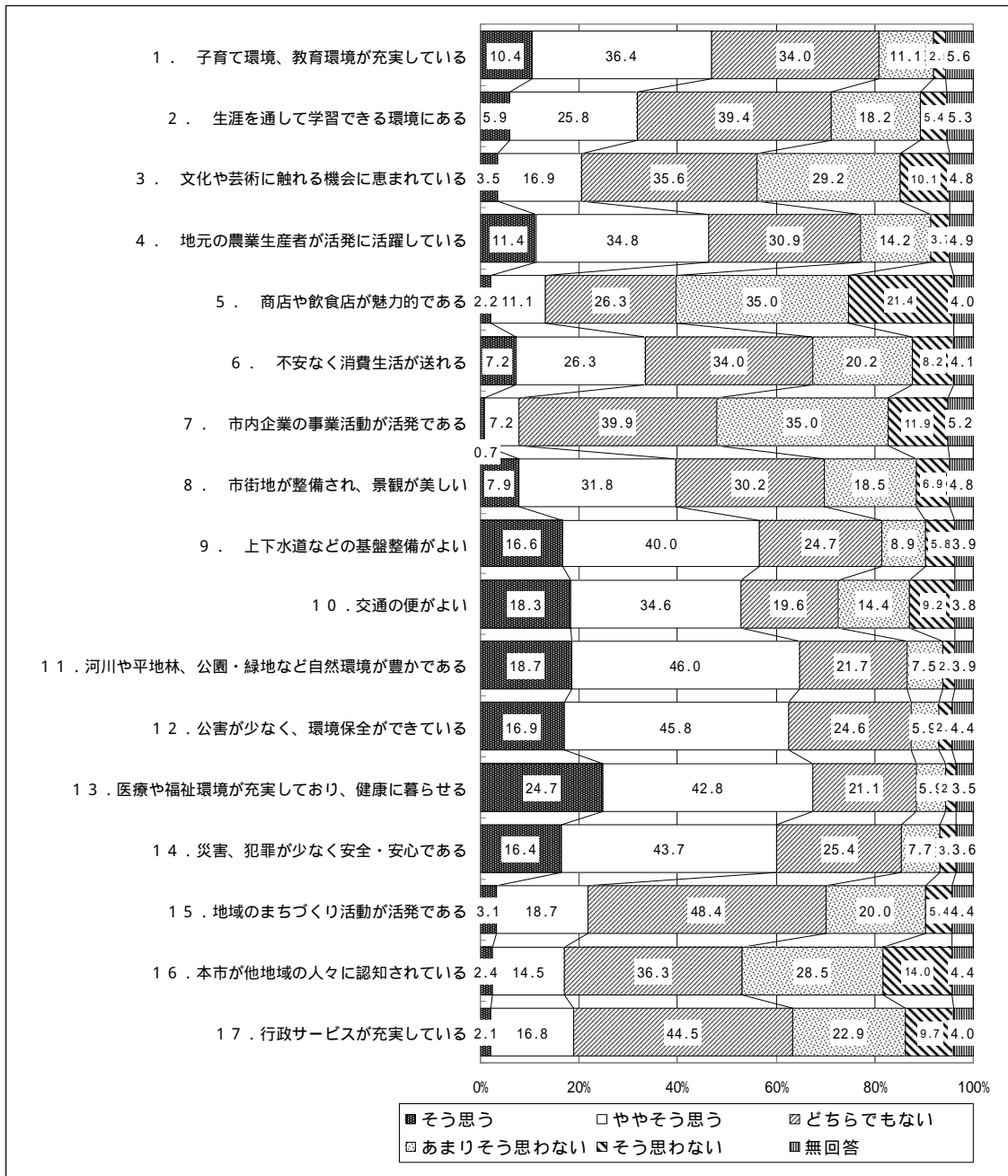
問2 下記の項目について下野市の現状をどのようにお感じですか。あなたのお気持ちに最も近いものをそれぞれ1つ選び、その番号を で囲んでください。

表2 - 1 下野市の現状についての評価

(単位：人、%)

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
1. 子育て環境、教育環境が充実している	3,621 100	378 10.4	1,317 36.4	1,231 34.0	402 11.1	92 2.5	201 5.6
2. 生涯を通して学習できる環境にある	3,621 100	213 5.9	934 25.8	1,425 39.4	660 18.2	197 5.4	192 5.3
3. 文化や芸術に触れる機会に恵まれている	3,621 100	125 3.5	612 16.9	1,289 35.6	1,057 29.2	364 10.1	174 4.8
4. 地元の農業生産者が活発に活躍している	3,621 100	412 11.4	1,260 34.8	1,120 30.9	515 14.2	135 3.7	179 4.9
5. 商店や飲食店が魅力的である	3,621 100	79 2.2	403 11.1	951 26.3	1,267 35.0	776 21.4	145 4.0
6. 不安なく消費生活が送れる	3,621 100	259 7.2	953 26.3	1,230 34.0	731 20.2	298 8.2	150 4.1
7. 市内企業の事業活動が活発である	3,621 100	26 0.7	261 7.2	1,446 39.9	1,267 35.0	431 11.9	190 5.2
8. 市街地が整備され、景観が美しい	3,621 100	287 7.9	1,150 31.8	1,092 30.2	670 18.5	250 6.9	172 4.8
9. 上下水道などの基盤整備がよい	3,621 100	602 16.6	1,450 40.0	893 24.7	323 8.9	211 5.8	142 3.9
10. 交通の便がよい	3,621 100	664 18.3	1,254 34.6	711 19.6	521 14.4	333 9.2	138 3.8
11. 河川や平地林、公園・緑地など自然環境が豊かである	3,621 100	678 18.7	1,667 46.0	784 21.7	271 7.5	78 2.2	143 3.9
12. 公害が少なく、環境保全ができています	3,621 100	612 16.9	1,658 45.8	890 24.6	212 5.9	90 2.5	159 4.4
13. 医療や福祉環境が充実しており、健康に暮らせる	3,621 100	895 24.7	1,548 42.8	764 21.1	214 5.9	75 2.1	125 3.5
14. 災害、犯罪が少なく安全・安心である	3,621 100	595 16.4	1,582 43.7	921 25.4	278 7.7	115 3.2	130 3.6
15. 地域のまちづくり活動が活発である	3,621 100	112 3.1	678 18.7	1,754 48.4	723 20.0	194 5.4	160 4.4
16. 本市が他地域の人々に認知されている	3,621 100	86 2.4	524 14.5	1,313 36.3	1,032 28.5	507 14.0	159 4.4
17. 行政サービスが充実している	3,621 100	75 2.1	608 16.8	1,611 44.5	831 22.9	352 9.7	144 4.0

図2-1 下野市の現状についての評価



(n=3,621)

表 2 - 2 年代別にみた下野市の評価上位 5 項目

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1位	11.河川や平地林 公園・緑地など自然環境が豊かである 1.8	13.医療や福祉環境が充実しており、健康に暮らせる 1.6	13.医療や福祉環境が充実しており、健康に暮らせる 1.7	13.医療や福祉環境が充実しており、健康に暮らせる 1.4	13.医療や福祉環境が充実しており、健康に暮らせる 1.6	13.医療や福祉環境が充実しており、健康に暮らせる 1.8
2位	13.医療や福祉環境が充実しており、健康に暮らせる 1.8	11.河川や平地林 公園・緑地など自然環境が豊かである 1.6	11.河川や平地林 公園・緑地など自然環境が豊かである 1.6	11.河川や平地林 公園・緑地など自然環境が豊かである 1.2	14.災害 犯罪が少なく安全・安心である 1.5	14.災害 犯罪が少なく安全・安心である 1.5
3位	12.公害が少なく、環境保全ができている 1.5	12.公害が少なく、環境保全ができている 1.4	12.公害が少なく、環境保全ができている 1.5	12.公害が少なく、環境保全ができている 1.2	12.公害が少なく、環境保全ができている 1.4	12.公害が少なく、環境保全ができている 1.3
4位	14.災害 犯罪が少なく安全・安心である 1.1	14.災害 犯罪が少なく安全・安心である 1.1	9.上下水道などの基盤整備がよい 1.1	14.災害 犯罪が少なく安全・安心である 1.1	9.上下水道などの基盤整備がよい 1.3	9.上下水道などの基盤整備がよい 1.3
5位	4.地元の農業生産者が活発に活躍している 1.0	9.上下水道などの基盤整備がよい 0.9	14.災害 犯罪が少なく安全・安心である 1.1	9.上下水道などの基盤整備がよい 0.8	11.河川や平地林 公園・緑地など自然環境が豊かである 1.2	11.河川や平地林 公園・緑地など自然環境が豊かである 1.2

(注1) 評価指数については、各項目の回答割合の加重平均(-4,-2,0,2,4)により算出。

* 加重平均とは、単純に平均するのではなく、値の重みを加味して平均すること。ここでは、「満足」との回答を4点、「やや満足」との回答を2点、「普通」との回答を0点、「やや不満」との回答を-2点、「不満」との回答を-4点とし、それぞれの回答割合に値の重みとして乗じて評価指数を算出している。したがって、評価指数「0」のとき、満足でも不満でもない中立の評価となる。以下、同様。

(注2) 網がけは全体回答で上位3位の項目。以下、同様。

表 2 - 3 年代別にみた下野市の評価下位 5 項目

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1位	16.本市が他地域の人々に認知されている 4.2	5.商店や飲食店が魅力的である 4.4	5.商店や飲食店が魅力的である 4.3	5.商店や飲食店が魅力的である 4.3	5.商店や飲食店が魅力的である 4.3	5.商店や飲食店が魅力的である 4.0
2位	5.商店や飲食店が魅力的である 4.2	7.市内企業の事業種が活発である 4.1	7.市内企業の事業種が活発である 4.2	7.市内企業の事業種が活発である 4.2	7.市内企業の事業種が活発である 4.0	7.市内企業の事業種が活発である 0.7
3位	7.市内企業の事業種が活発である 0.9	16.本市が他地域の人々に認知されている 4.1	16.本市が他地域の人々に認知されている 0.9	16.本市が他地域の人々に認知されている 0.9	16.本市が他地域の人々に認知されている 0.4	3.文化や芸術に触れる機会に恵まれている 0.1
4位	17.行政サービスが充実している 0.7	17.行政サービスが充実している 0.6	3.文化や芸術に触れる機会に恵まれている 0.7	17.行政サービスが充実している 0.8	3.文化や芸術に触れる機会に恵まれている 0.4	16.本市が他地域の人々に認知されている 0.1
5位	3.文化や芸術に触れる機会に恵まれている 0.7	3.文化や芸術に触れる機会に恵まれている 0.5	17.行政サービスが充実している 0.6	3.文化や芸術に触れる機会に恵まれている 0.7	17.行政サービスが充実している 0.3	15.地域のまちづくり種が活発である 0.1

(注1) 評価指数については、各項目の回答割合の加重平均(-4,-2,0,2,4)により算出。

(注2) 網がけは全体回答で下位3位の項目。以下、同様。

表 2 - 4 地区別にみた下野市の評価上位 5 項目

	南河内地区	石橋地区	国分寺地区
1位	13.医療や福祉環境が充実しており、健康に暮らせる 1.9	13.医療や福祉環境が充実しており、健康に暮らせる 1.5	11.河川や平地林 公園・緑地など自然環境が豊かである 1.6
2位	11.河川や平地林 公園・緑地など自然環境が豊かである 1.6	12.公害が少なく、環境安全ができています 1.3	13.医療や福祉環境が充実しており、健康に暮らせる 1.5
3位	9.上下水道などの基盤整備がよい 1.4	14.災害、犯罪が少なく安全・安心である 1.2	12.公害が少なく、環境安全ができています 1.5
4位	12.公害が少なく、環境安全ができています 1.4	11.河川や平地林 公園・緑地など自然環境が豊かである 1.1	14.災害、犯罪が少なく安全・安心である 1.3
5位	14.災害、犯罪が少なく安全・安心である 1.2	10.交通の便がよい 0.9	10.交通の便がよい 1.2

(注) 評価指数については、各項目の回答割合の加重平均(-4,-2,0,2,4)により算出。

表 2 - 5 地区別にみた下野市の評価下位 5 項目

	南河内地区	石橋地区	国分寺地区
1位	7.市内企業の事業種が活発である 0.9	5.商店や飲食店が魅力的である 4.7	5.商店や飲食店が魅力的である 4.5
2位	3.文化や芸術に触れる機会に恵まれている 0.6	7.市内企業の事業種が活発である 4.0	7.市内企業の事業種が活発である 4.1
3位	5.商店や飲食店が魅力的である 0.6	16.本市が他地域の人々に認知されている 0.9	16.本市が他地域の人々に認知されている 0.8
4位	16.本市が他地域の人々に認知されている 0.6	3.文化や芸術に触れる機会に恵まれている 0.4	17.行政サービスが充実している 0.5
5位	17.行政サービスが充実している 0.4	17.行政サービスが充実している 0.4	3.文化や芸術に触れる機会に恵まれている 0.5

(注) 評価指数については、各項目の回答割合の加重平均(-4,-2,0,2,4)により算出。

B 本市の長所・特徴

問3 . 下野市の他地域の人々に対して誇れるところ

下野市の他地域の人々に対して誇れるところをうかがったところ、表3 - 1、図3 - 1のようになりました。「誇れるところが数多くある」「誇れるところが少しはある」を合わせた回答の割合をみると、約7割(65.0%)の人が誇れるところがあると思っています。

次に、「誇れるところがほとんどない」「誇れるところがない」を合わせた回答の割合をみると、約2割(18.2%)の人が誇れるところがないと感じています。

<年代別>

下野市の誇れるところについての評価を年代別に見ると、表3 - 2、図3 - 2のようになりました。「誇れるところが数多くある」「誇れるところが少しはある」を合わせた回答の割合をみると、概ね年代が高くなるにつれて高くなっています。また、「誇れるところがほとんどない」「誇れるところがない」を合わせた回答の割合についても年代が高くなるにつれて低くなり、年代が高くなるほど誇れるところがあると感じています。

<地区別>

下野市の誇れるところについての評価を地区別に見ると、表3 - 3、図3 - 3のようになりました。地区による大きな違いは見受けられませんが、「誇れるところが数多くある」「誇れるところが少しはある」を合わせた回答の割合をみると、南河内地区、国分寺地区、石橋地区の順となっています。一方、「誇れるところがほとんどない」「誇れるところがない」を合わせた回答の割合については、石橋地区、国分寺地区、南河内地区の順となっています。

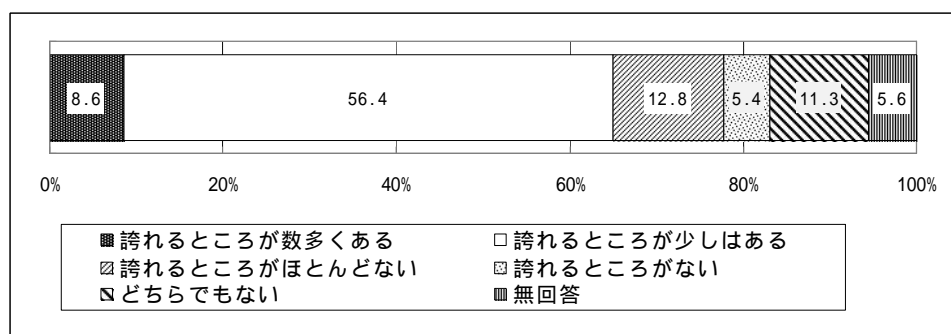
問3 あなたからみて下野市には、他地域の人々に対して誇れるところがありますか。次の中から1つ選び、その番号を で囲んでください。

表3 - 1 下野市の他地域の人々に対して誇れるところ

(単位：人、%)

調査数	誇れるところが数多くある	誇れるところが少しはある	誇れるところがほとんどない	誇れるところがない	どちらでもない	無回答
3,621	311	2,042	462	196	409	201
100	8.6	56.4	12.8	5.4	11.3	5.6

図3 - 1 下野市の他地域の人々に対して誇れるところ



(n=3,621)

表3 - 2 年代別にみた下野市の他地域の人々に対して誇れるところ

(単位：人、%)

	調査数	誇れるところが数多くある	誇れるところが少しはある	誇れるところがほとんどない	誇れるところがない	どちらでもない	無回答
全体	3,621	311	2,042	462	196	409	201
	100	8.6	56.4	12.8	5.4	11.3	5.6
20歳代	559	32	293	91	44	66	33
	100	5.7	52.4	16.3	7.9	11.8	5.9
30歳代	604	34	317	103	46	71	33
	100	5.6	52.5	17.1	7.6	11.8	5.5
40歳代	571	55	313	79	31	62	31
	100	9.6	54.8	13.8	5.4	10.9	5.4
50歳代	592	45	343	90	35	65	14
	100	7.6	57.9	15.2	5.9	11.0	2.4
60歳代	603	54	382	62	16	65	24
	100	9.0	63.3	10.3	2.7	10.8	4.0
70歳以上	654	88	374	33	21	78	60
	100	13.5	57.2	5.0	3.2	11.9	9.2

図3 - 2 年代別にみた下野市の他地域の人々に対して誇れるところ

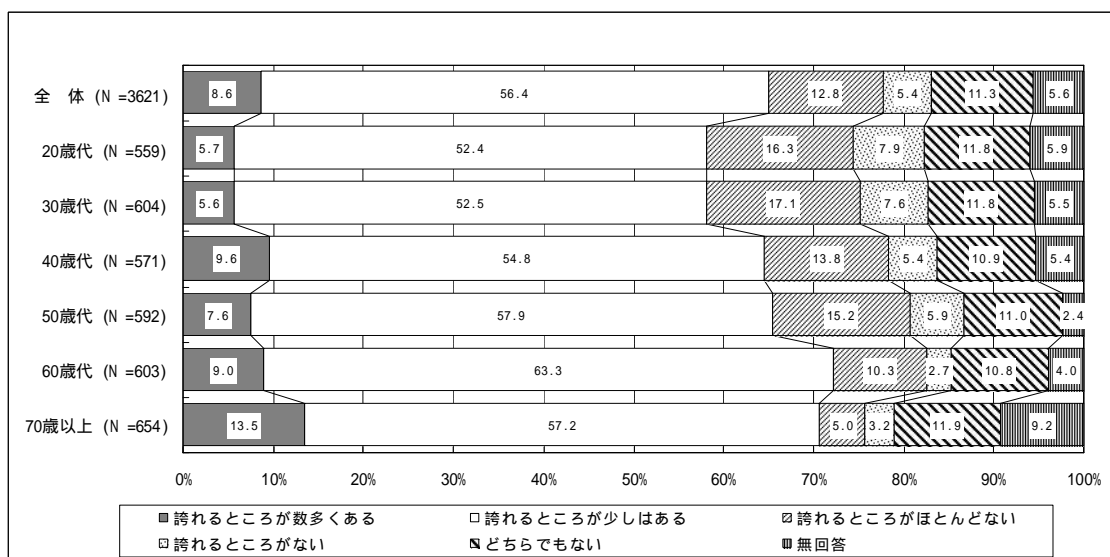
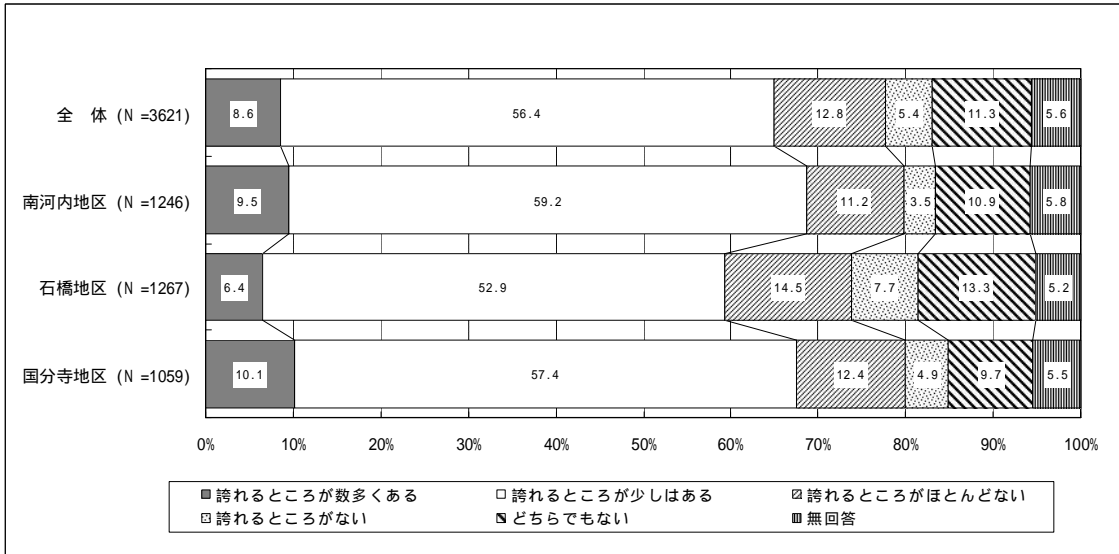


表 3 - 3 地区別にみた下野市の他地域の人々に対して誇れるところ

(単位：人、%)

	調査数	誇れるところが数多くある	誇れるところが少しはある	誇れるところがほとんどない	誇れるところがない	どちらでもない	無回答
全 体	3,621 100	311 8.6	2,042 56.4	462 12.8	196 5.4	409 11.3	201 5.6
南河内地区	1,246 100	118 9.5	738 59.2	139 11.2	43 3.5	136 10.9	72 5.8
石橋地区	1,267 100	81 6.4	670 52.9	184 14.5	98 7.7	168 13.3	66 5.2
国分寺地区	1,059 100.0	107 10.1	608 57.4	131 12.4	52 4.9	103 9.7	58 5.5

図 3 - 3 地区別にみた下野市の他地域の人々に対して誇れるところ



問4．下野市の特徴的な活動や資源などで他地域の人々に対して誇れるところ

下野市の特徴的な活動や資源などで他地域の人々に対して誇れるところをうかがったところ、表4 - 1、図4 - 1のようになりました。「そう思う」「ややそう思う」を合わせた回答の割合を項目ごとに比較すると、「7．自治医科大学附属病院をはじめとする高度医療の集積」が82.6%と評価している割合が最も高く、次いで「3．かんぴょうやいちご等の特産品」が64.2%、「9．天平の花まつり・菊まつり、芋煮会等の季節のイベント」が52.2%の順になっています。

次に、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた回答の割合を項目ごとに比較すると、「5．本場結城紬やふくべ細工等の工芸品」が30.4%、「2．ドイツ・ディーツヘルツタルとの国際交流や高松市との地域間交流」が30.3%と高く、約3割の人が誇れるところとっていないことが分かります。次いで、「6．自治医大駅前等の商業・サービスの集積」が19.2%、「1．下野薬師寺跡、下野国分寺跡等の文化遺産や歴史関連のイベント」が17.3%の順になっています。

問4 次に挙げる下野市の特徴的な活動や資源などは、他地域の人々に対して誇れるものですか。あなたのお気持ちに最も近いものをそれぞれ1つ選び、その番号を で囲んでください。

<年代別>

下野市の特徴的な活動や資源などで他地域の人々に対して誇れるところを年代別にみると、表4 - 2のようになりました。すべての年代において「7．自治医科大学附属病院をはじめとする高度医療の集積」を評価している割合が最も高く、次いで「3．かんぴょうやいちご等の特産品」となっています。

一方、20歳代、50歳代、60歳代においては、「2．ドイツ・ディーツヘルツタルとの国際交流や高松市との地域間交流」、30歳代、40歳代、70歳以上については「5．本場結城紬やふくべ細工等の工芸品」が最も低い評価となっています。

<地区別>

下野市の特徴的な活動や資源などで他地域の人々に対して誇れるところを地区別にみると、表4 - 3のようになりました。すべての地区において「7．自治医科大学附属病院をはじめとする高度医療の集積」を評価している割合が最も高く、次いで「3．かんぴょうやいちご等の特産品」となっています。

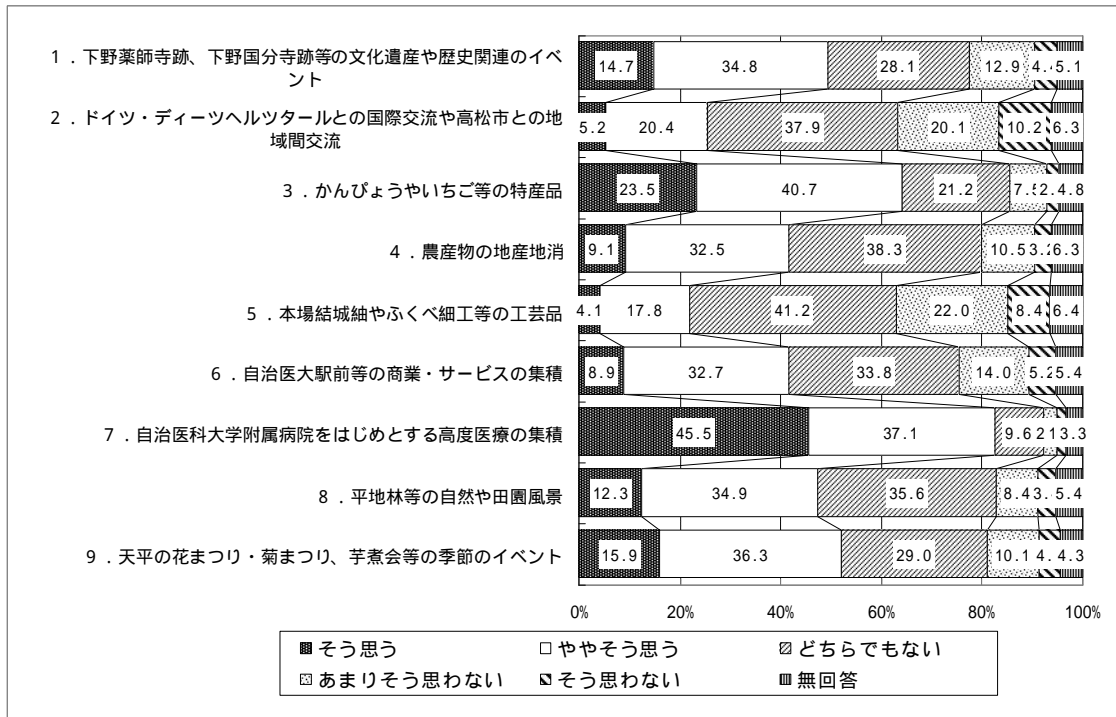
一方、南河内地区においては、「2．ドイツ・ディーツヘルツタルとの国際交流や高松市との地域間交流」、石橋地区、国分寺地区については「5．本場結城紬やふくべ細工等の工芸品」が最も低い評価となっています。

表4 - 1 下野市の特徴的な活動や資源

(単位：人、%)

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
1. 下野薬師寺跡、下野国分寺跡等の文化遺産や歴史関連のイベント	3,621 100	534 14.7	1,259 34.8	1,018 28.1	467 12.9	159 4.4	184 5.1
2. ドイツ・ディーツヘルツタルとの国際交流や高松市との地域間交流	3,621 100	187 5.2	738 20.4	1,372 37.9	728 20.1	368 10.2	228 6.3
3. かんぴょうやいちご等の特産品	3,621 100	852 23.5	1,474 40.7	766 21.2	271 7.5	85 2.3	173 4.8
4. 農産物の地産地消	3,621 100	329 9.1	1,178 32.5	1,387 38.3	382 10.5	116 3.2	229 6.3
5. 本場結城紬やふくべ細工等の工芸品	3,621 100	150 4.1	645 17.8	1,493 41.2	798 22.0	305 8.4	230 6.4
6. 自治医大駅前等の商業・サービスの集積	3,621 100	321 8.9	1,184 32.7	1,225 33.8	507 14.0	188 5.2	196 5.4
7. 自治医科大学附属病院をはじめとする高度医療の集積	3,621 100	1,648 45.5	1,343 37.1	347 9.6	105 2.9	57 1.6	121 3.3
8. 平地林等の自然や田園風景	3,621 100	447 12.3	1,262 34.9	1,289 35.6	305 8.4	123 3.4	195 5.4
9. 天平の花まつり・菊まつり、芋煮会等の季節のイベント	3,621 100	575 15.9	1,315 36.3	1,049 29.0	364 10.1	161 4.4	157 4.3

図 4 - 1 下野市の特徴的な活動や資源



(n=3,621)

表4-2 年代別に見た下野市の特徴的な活動や資源

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1位	7.自治医科大学 附属病院をはじめ とする高度医療の 集積 2.4	7.自治医科大学 附属病院をはじめ とする高度医療の 集積 2.4	7.自治医科大学 附属病院をはじめ とする高度医療の 集積 2.4	7.自治医科大学 附属病院をはじめ とする高度医療の 集積 2.2	7.自治医科大学 附属病院をはじめ とする高度医療の 集積 2.5	7.自治医科大学 附属病院をはじめ とする高度医療の 集積 2.6
2位	3.かんぴょうや いちご等の特産品 1.8	3.かんぴょうや いちご等の特産品 1.4	3.かんぴょうや いちご等の特産品 1.4	3.かんぴょうや いちご等の特産品 1.2	3.かんぴょうや いちご等の特産品 1.5	3.かんぴょうや いちご等の特産品 1.6
3位	8.平林等の自然 や田園風景 1.0	9.天平の花まつり・ 菊まつり、芋煮会等 の季節のイベント 1.1	8.平林等の自然 や田園風景 0.9	9.天平の花まつり・ 菊まつり、芋煮会等 の季節のイベント 0.8	1.下野薬師寺跡 下野国分寺跡等の 文化遺産や歴史関 連のイベント 1.2	1.下野薬師寺跡 下野国分寺跡等の 文化遺産や歴史関 連のイベント 1.5
4位	9.天平の花まつり・ 菊まつり、芋煮会等 の季節のイベント 0.9	8.平林等の自然 や田園風景 0.8	1.下野薬師寺跡 下野国分寺跡等の 文化遺産や歴史関 連のイベント 0.8	1.下野薬師寺跡 下野国分寺跡等の 文化遺産や歴史関 連のイベント 0.8	9.天平の花まつり・ 菊まつり、芋煮会等 の季節のイベント 1.1	9.天平の花まつり・ 菊まつり、芋煮会等 の季節のイベント 1.3
5位	4.農産物の地産 地消 0.8	4.農産物の地産 地消 0.6	9.天平の花まつり・ 菊まつり、芋煮会等 の季節のイベント 0.7	8.平林等の自然 や田園風景 0.7	8.平林等の自然 や田園風景 0.9	8.平林等の自然 や田園風景 1.0
6位	1.下野薬師寺跡 下野国分寺跡等の 文化遺産や歴史関 連のイベント 0.3	1.下野薬師寺跡 下野国分寺跡等の 文化遺産や歴史関 連のイベント 0.4	4.農産物の地産 地消 0.7	4.農産物の地産 地消 0.5	6.自治医大駅前 等の商業・サービ スの集積 0.8	6.自治医大駅前 等の商業・サービ スの集積 1.0
7位	6.自治医大駅前 等の商業・サービ スの集積 0.2	6.自治医大駅前 等の商業・サービ スの集積 0.2	6.自治医大駅前 等の商業・サービ スの集積 0.4	6.自治医大駅前 等の商業・サービ スの集積 0.4	4.農産物の地産 地消 0.6	4.農産物の地産 地消 0.7
8位	5.本郷寺成曲や ふくべ細工等の工 芸品 0.2	2.ドイツ・ディ ーツヘルツタル との国際交流や高 松市との地域間交 流 0.4	2.ドイツ・ディ ーツヘルツタル との国際交流や高 松市との地域間交 流 0.2	5.本郷寺成曲や ふくべ細工等の工 芸品 0.4	5.本郷寺成曲や ふくべ細工等の工 芸品 0.0	2.ドイツ・ディ ーツヘルツタル との国際交流や高 松市との地域間交 流 0.2
9位	2.ドイツ・ディ ーツヘルツタル との国際交流や高 松市との地域間交 流 0.3	5.本郷寺成曲や ふくべ細工等の工 芸品 0.5	5.本郷寺成曲や ふくべ細工等の工 芸品 0.6	2.ドイツ・ディ ーツヘルツタル との国際交流や高 松市との地域間交 流 0.4	2.ドイツ・ディ ーツヘルツタル との国際交流や高 松市との地域間交 流 0.1	5.本郷寺成曲や ふくべ細工等の工 芸品 0.1

(注) 評価指数については、各項目の回答割合の加重平均(-4,-2,0,2,4)により算出。

表4 - 3 地区別に見た下野市の特徴的な活動や資源

	南河内地区	石橋地区	国分寺地区
1位	7.自治医科大学附属病院をはじめとする高度医療の集積 2.5	7.自治医科大学附属病院をはじめとする高度医療の集積 2.4	7.自治医科大学附属病院をはじめとする高度医療の集積 2.5
2位	3.かんぴょうやいちご等の特産品 1.6	3.かんぴょうやいちご等の特産品 1.4	3.かんぴょうやいちご等の特産品 1.5
3位	8.平地林等の自然や田園風景 1.0	9.天平の花まつり・菊まつり、芋煮会等の季節のイベント 0.8	9.天平の花まつり・菊まつり、芋煮会等の季節のイベント 1.4
4位	9.天平の花まつり・菊まつり、芋煮会等の季節のイベント 0.8	8.平地林等の自然や田園風景 0.8	1.下野薬師寺跡 下野国分寺跡等の文化遺産や歴史関連のイベント 1.1
5位	1.下野薬師寺跡 下野国分寺跡等の文化遺産や歴史関連のイベント 0.8	1.下野薬師寺跡 下野国分寺跡等の文化遺産や歴史関連のイベント 0.7	8.平地林等の自然や田園風景 1.0
6位	4.農産物の地産地消 0.7	4.農産物の地産地消 0.7	4.農産物の地産地消 0.7
7位	6.自治医大駅前等の商業・サービスの集積 0.5	6.自治医大駅前等の商業・サービスの集積 0.5	6.自治医大駅前等の商業・サービスの集積 0.6
8位	5.本場嵯峨曲やふくべ細工等の工芸品 0.3	2.ドイツ・ディーツヘルツァールとの国際交流や高松市との地域間交流 0.2	2.ドイツ・ディーツヘルツァールとの国際交流や高松市との地域間交流 0.3
9位	2.ドイツ・ディーツヘルツァールとの国際交流や高松市との地域間交流 0.5	5.本場嵯峨曲やふくべ細工等の工芸品 0.1	5.本場嵯峨曲やふくべ細工等の工芸品 0.4

(注) 評価指数については、各項目の回答割合の加重平均(-4,-2,0,2,4)により算出。

C これまでの市の取り組みに対する満足度

問5 . 市（行政）の取り組みに対する満足感

これまでの市の取り組みに対して、日常生活における満足度をうかがったところ、表5 - 1、図5 - 1のようになりました。「満足」「やや満足」を合わせた回答の割合を項目ごとに比較すると、「8 . 上水道の整備」において51.5%と満足している割合が最も高く、次いで「9 . 下水道の整備」は47.9%、「23 . 医療体制」が47.1%、「7 . ごみ処理・リサイクル」は45.2%の順になっています。

各項目を後述の6つのカテゴリに分類すると、表5 - 2、図5 - 2のようになります。上記のように、満足度が高いのは「生活基盤」内の項目であることが読み取れます。

次に、「不満」「やや不満」を合わせた回答の割合を項目ごとに比較すると、「36 . 観光の振興」において最も高く、約4割（36.4%）の人が不満に感じていることが分かります。次いで、「33 . 商業の振興」が34.2%、「34 . 工業の振興」が30.0%の順になっています。

不満が強く出ている項目をカテゴリ別にみると、「産業」が多く、ついで「行政」となっています。

（注）各項目は、以下の6つのカテゴリに分類される。

- ・生活基盤：消防・防災、防犯、消費者保護の取り組み、交通安全対策、公害対策、環境対策、ごみ処理・リサイクル、上水道の整備、下水道の整備
- ・都市基盤：まちなみ景観、土地利用における秩序の確保、市街地整備、道路整備、公共交通の整備、公園・緑地の整備、自然環境保全
- ・福祉・保健・医療：児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、地域福祉、健康づくりへの取り組み、健康づくり施設の整備、医療体制、保険・年金
- ・教育・文化：幼児教育、小中学校の教育、社会教育・文化的活動を行う機会、スポーツ・レクリエーション活動の機会、青少年の健全育成、文化・芸術活動の促進、文化遺産の保存や活用、地域間交流・国際交流
- ・産業：商業の振興、工業の振興、農業の振興、観光の振興
- ・行政：行政の情報を知る機会、まちづくり活動に参加する機会、NPO 団体や市民ボランティアの登録促進、男女共同参画の取り組み、他市町村との連携、市役所の窓口サービス、市の仕事の効率性、市の財政運営

<年代別>

満足度を年代別にみると、表5 - 3、表5 - 4のようになりました。全体結果で満足度が最も高い「8 . 上水道の整備」については、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の年代層で1番目にあがっています。一方、20歳代、30歳代の比較的若い年代層において、最も

満足度が高いのは「23. 医療体制」(全体結果では3番目)でした。「9. 下水道の整備」については、20歳代を除くすべての年代で5番目までに入っており、50歳代、60歳代では2番目にあげられています。「1. 消防・防災」については、30歳代、60歳代では3番目にあげられており、20歳代、40歳代、70歳以上では4番目にあげられています。「15. 公園・緑地の整備」は、20歳代で2番目にあげられており、30歳代でも5番目にあがるなど比較的若い年代層での満足度が高いことが分かります。一方、比較的高い年代層では、「7. ごみ処理・リサイクル」があげられていることが特徴的です。

不満度を年代別にみると、20歳代から50歳代において最も高いのが「36. 観光の振興」となっています。「33. 商業の振興」については全ての年代であげられており、特に60歳代、70歳以上では最も高く、50歳代では2番目、30歳代、40歳代では3番目、20歳代では4番目となっていることから、年代が高くなるにつれ関心が高まっていることが分かります。「34. 工業の振興」については40歳代以上で不満が高くみられます。さらに、若い年代層で上位にあげられているのが、「44. 市の財政運営」と「43. 市の仕事の効率性」です。その他、20歳代では「39. NPO団体や市民ボランティアの登録促進」、70歳以上では「38. まちづくり活動に参加する機会」があげられているのが特徴的です。

<地区別>

満足度を地区別にみると、表5-5、表5-6のようになりました。満足度が最も高いのは南河内地区、国分寺地区においては「8. 上水道の整備」で、石橋地区では「1. 消防・防災」となっています。「9. 下水道の整備」については、南河内地区では2番目、石橋地区では5番目、国分寺地区では3番目にあげられています。また、「23. 医療体制」については、国分寺地区で2番目、南河内地区、石橋地区で3番目になるなど、比較的満足度が高いことが分かります。その他、石橋地区・国分寺地区において「7. ごみ処理・リサイクル」があげられていることが特徴的です。

不満度を地区別にみると、すべての地区において、「36. 観光の振興」「33. 商業の振興」「34. 工業の振興」「44. 市の財政運営」「43. 市の仕事の効率性」があげられています。特に、南河内地区、石橋地区において最も高いは「36. 観光の振興」となっています。また、国分寺地区では「33. 商業の振興」が最も不満度が高くなっている一方で、南河内地区では5番目となっています。

問5 次の項目について、日常生活においてどの程度の満足感をお持ちでしょうか。あなたのお気持ちに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を で囲んでください。

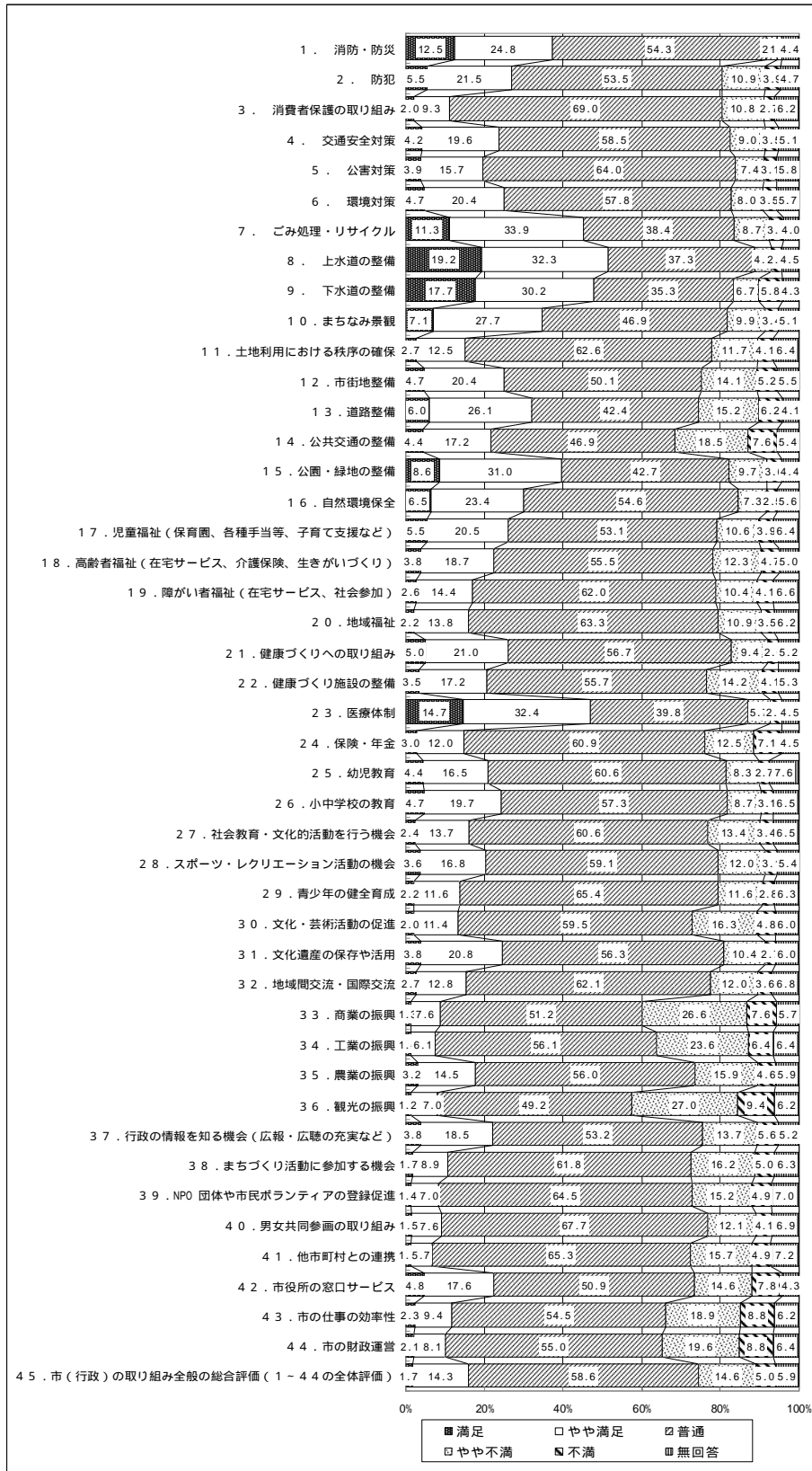
表5 - 1 市（行政）の取り組みに対する満足感 （単位：人、％）

	調査数	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
1 . 消防・防災	3,621 100	453 12.5	898 24.8	1,966 54.3	106 2.9	39 1.1	159 4.4
2 . 防犯	3,621 100	198 5.5	778 21.5	1,938 53.5	396 10.9	140 3.9	171 4.7
3 . 消費者保護の取り組み	3,621 100	73 2.0	335 9.3	2,498 69.0	390 10.8	99 2.7	226 6.2
4 . 交通安全対策	3,621 100	153 4.2	710 19.6	2,117 58.5	327 9.0	128 3.5	186 5.1
5 . 公害対策	3,621 100	141 3.9	570 15.7	2,318 64.0	268 7.4	113 3.1	211 5.8
6 . 環境対策	3,621 100	171 4.7	737 20.4	2,093 57.8	290 8.0	125 3.5	205 5.7
7 . ごみ処理・リサイクル	3,621 100	409 11.3	1,227 33.9	1,392 38.4	315 8.7	133 3.7	145 4.0
8 . 上水道の整備	3,621 100	696 19.2	1,169 32.3	1,351 37.3	153 4.2	90 2.5	162 4.5
9 . 下水道の整備	3,621 100	640 17.7	1,092 30.2	1,280 35.3	241 6.7	211 5.8	157 4.3
10 . まちなみ景観	3,621 100	257 7.1	1,003 27.7	1,697 46.9	359 9.9	122 3.4	183 5.1
11 . 土地利用における秩序の確保	3,621 100	99 2.7	453 12.5	2,268 62.6	424 11.7	147 4.1	230 6.4
12 . 市街地整備	3,621 100	170 4.7	739 20.4	1,814 50.1	510 14.1	189 5.2	199 5.5
13 . 道路整備	3,621 100	219 6.0	944 26.1	1,534 42.4	551 15.2	226 6.2	147 4.1
14 . 公共交通の整備	3,621 100	161 4.4	623 17.2	1,698 46.9	669 18.5	275 7.6	195 5.4
15 . 公園・緑地の整備	3,621 100	311 8.6	1,121 31.0	1,547 42.7	352 9.7	132 3.6	158 4.4
16 . 自然環境保全	3,621 100	237 6.5	849 23.4	1,977 54.6	263 7.3	91 2.5	204 5.6
17 . 児童福祉 （保育園、各種手当等、子育て支援など）	3,621 100	200 5.5	741 20.5	1,923 53.1	384 10.6	143 3.9	230 6.4
18 . 高齢者福祉 （在宅サービス、介護保険、生きがいづくり）	3,621 100	136 3.8	678 18.7	2,010 55.5	446 12.3	169 4.7	182 5.0
19 . 障がい者福祉 （在宅サービス、社会参加）	3,621 100	93 2.6	520 14.4	2,245 62.0	375 10.4	150 4.1	238 6.6
20 . 地域福祉	3,621 100	81 2.2	501 13.8	2,293 63.3	393 10.9	127 3.5	226 6.2
21 . 健康づくりへの取り組み	3,621 100	182 5.0	761 21.0	2,054 56.7	341 9.4	95 2.6	188 5.2
22 . 健康づくり施設の整備	3,621 100	125 3.5	624 17.2	2,017 55.7	514 14.2	148 4.1	193 5.3
23 . 医療体制	3,621 100	534 14.7	1,172 32.4	1,441 39.8	205 5.7	106 2.9	163 4.5

(単位：人、%)

	調査数	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
24. 保険・年金	3,621 100	108 3.0	435 12.0	2,205 60.9	454 12.5	256 7.1	163 4.5
25. 幼児教育	3,621 100	159 4.4	598 16.5	2,194 60.6	299 8.3	96 2.7	275 7.6
26. 小中学校の教育	3,621 100	171 4.7	712 19.7	2,074 57.3	314 8.7	114 3.1	236 6.5
27. 社会教育・文化的活動を行う機会	3,621 100	87 2.4	497 13.7	2,194 60.6	484 13.4	122 3.4	237 6.5
28. スポーツ・レクリエーション活動の機会	3,621 100	129 3.6	608 16.8	2,141 59.1	435 12.0	114 3.1	194 5.4
29. 青少年の健全育成	3,621 100	80 2.2	421 11.6	2,369 65.4	419 11.6	103 2.8	229 6.3
30. 文化・芸術活動の促進	3,621 100	72 2.0	413 11.4	2,155 59.5	591 16.3	172 4.8	218 6.0
31. 文化遺産の保存や活用	3,621 100	139 3.8	753 20.8	2,038 56.3	375 10.4	98 2.7	218 6.0
32. 地域間交流・国際交流	3,621 100	96 2.7	465 12.8	2,249 62.1	433 12.0	130 3.6	248 6.8
33. 商業の振興	3,621 100	46 1.3	275 7.6	1,854 51.2	963 26.6	277 7.6	206 5.7
34. 工業の振興	3,621 100	49 1.4	221 6.1	2,032 56.1	856 23.6	232 6.4	231 6.4
35. 農業の振興	3,621 100	115 3.2	524 14.5	2,029 56.0	574 15.9	167 4.6	212 5.9
36. 観光の振興	3,621 100	42 1.2	254 7.0	1,782 49.2	978 27.0	342 9.4	223 6.2
37. 行政の情報を知る機会 (広報・広聴の充実など)	3,621 100	138 3.8	671 18.5	1,926 53.2	496 13.7	203 5.6	187 5.2
38. まちづくり活動に参加する機会	3,621 100	61 1.7	322 8.9	2,239 61.8	588 16.2	182 5.0	229 6.3
39. NPO 団体や市民ボランティアの登録促進	3,621 100	52 1.4	253 7.0	2,335 64.5	550 15.2	179 4.9	252 7.0
40. 男女共同参画の取り組み	3,621 100	53 1.5	276 7.6	2,453 67.7	439 12.1	149 4.1	251 6.9
41. 他市町村との連携	3,621 100	44 1.2	207 5.7	2,363 65.3	567 15.7	179 4.9	261 7.2
42. 市役所の窓口サービス	3,621 100	172 4.8	638 17.6	1,844 50.9	529 14.6	284 7.8	154 4.3
43. 市の仕事の効率性	3,621 100	83 2.3	340 9.4	1,972 54.5	683 18.9	318 8.8	225 6.2
44. 市の財政運営	3,621 100	77 2.1	294 8.1	1,992 55.0	709 19.6	319 8.8	230 6.4
45. 市(行政)の取り組み全般の総合評価 (1～44の全体評価)	3,621 100	62 1.7	518 14.3	2,122 58.6	527 14.6	180 5.0	212 5.9

図5-1 市(行政)の取り組みに対する満足感



(n=3,621)

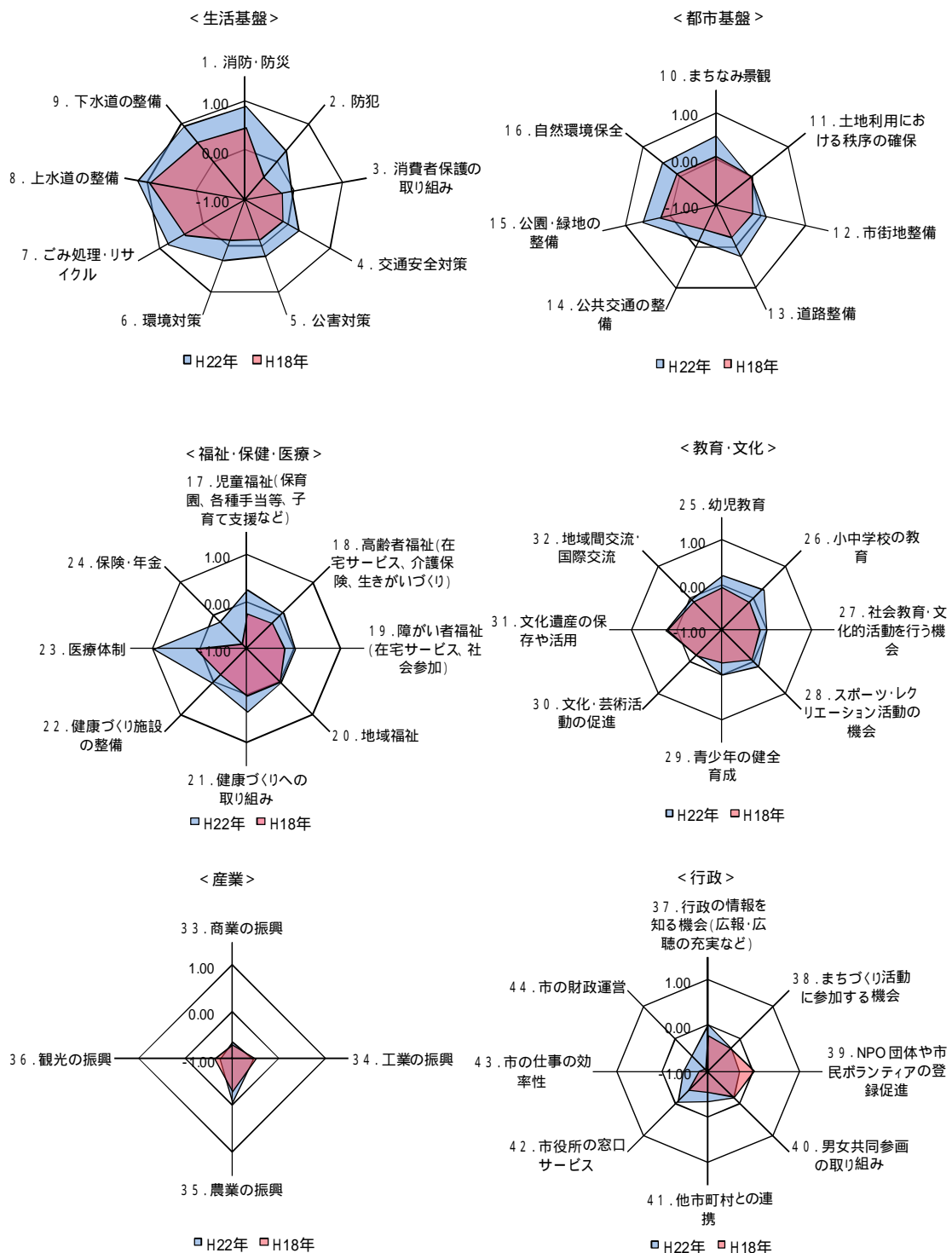
表5 - 2 市（行政）の取り組みに対する満足感の経年比較

	項 目	H22年	H18年	H22 - H18
生活 基盤	1 . 消防・防災	0.89	0.47	0.43
	2 . 防犯	0.28	-0.42	0.70
	3 . 消費者保護の取り組み	-0.06	-0.26	0.20
	4 . 交通安全対策	0.24	-0.15	0.39
	5 . 公害対策	0.20	-0.15	0.35
	6 . 環境対策	0.30	-0.14	0.43
	7 . ごみ処理・リサイクル	0.81	0.42	0.39
	8 . 上水道の整備	1.23	0.98	0.25
	9 . 下水道の整備	0.95	0.53	0.42
		当該カテゴリーの平均	0.54	0.14
都市 基盤	10 . まちなみ景観	0.50	0.07	0.43
	11 . 土地利用における秩序の確保	-0.04		
	12 . 市街地整備	0.11	-0.19	0.29
	13 . 道路整備	0.21	-0.23	0.44
	14 . 公共交通の整備	-0.15	-0.42	0.26
	15 . 公園・緑地の整備	0.63	0.24	0.39
	16 . 自然環境保全	0.48	0.10	0.39
		当該カテゴリーの平均	0.25	-0.07
福祉・ 保険・ 医療	17 . 児童福祉（保育園、各種手当等、子育て支援など）	0.26	-0.25	0.51
	18 . 高齢者福祉（在宅サービス、介護保険、生きがいづくり）	0.09	-0.23	0.32
	19 . 障がい者福祉（在宅サービス、社会参加）	0.02	-0.19	0.21
	20 . 地域福祉	0.01		
	21 . 健康づくりへの取り組み	0.33	0.00	0.33
	22 . 健康づくり施設の整備	0.04	-0.21	0.25
	23 . 医療体制	1.01	0.11	0.90
	24 . 保険・年金	-0.17	-0.85	0.67
		当該カテゴリーの平均	0.20	-0.23

	項 目	H22年	H18年	H22 - H18
教育・文化	25．幼児教育	0.23	-0.04	0.27
	26．小中学校の教育	0.28	-0.14	0.42
	27．社会教育・文化的活動を行う機会	-0.03	-0.17	0.13
	28．スポーツ・レクリエーション活動の機会	0.12	-0.07	0.19
	29．青少年の健全育成	-0.02	-0.27	0.25
	30．文化・芸術活動の促進	-0.21	-0.20	-0.01
	31．文化遺産の保存や活用	0.25	0.22	0.03
	32．地域間交流・国際交流	-0.02	-0.11	0.09
	当該カテゴリーの平均	0.07	-0.10	0.17
産業	33．商業の振興	-0.63	-0.70	0.07
	34．工業の振興	-0.55	-0.49	-0.06
	35．農業の振興	-0.08	-0.30	0.22
	36．観光の振興	-0.73	-0.61	-0.12
	当該カテゴリーの平均	-0.50	-0.52	0.03
行政	37．行政の情報を知る機会（広報・広聴の充実など）	0.02	-0.21	0.24
	38．まちづくり活動に参加する機会	-0.28	-0.30	0.02
	39．NPO 団体や市民ボランティアの登録促進	-0.30		
	40．男女共同参画の取り組み	-0.19	-0.20	0.00
	41．他市町村との連携	-0.35	-0.53	0.18
	42．市役所の窓口サービス	-0.06	-0.41	0.35
	43．市の仕事の効率性	-0.45	-0.81	0.36
	44．市の財政運営	-0.50	-0.93	0.43
	当該カテゴリーの平均	-0.26	-0.48	0.23
-	45．市（行政）の取り組み全般の総合評価 （1～44の全体評価）	-0.14		

(注)各項目(「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」)の回答割合の加重平均(-4,-2,0,2,4)により算出。 は各分野の中で、今回調査において改善した項目上位2位、 は今回調査で悪化した項目を示す。

図5-2 市(行政)の取り組みに対する満足感の経年比較



(注1)各項目(「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」)の回答割合の加重平均(-4,-2,0,2,4)により算出。

(注2)面積が大きいほど満足度が高い。また、本調査において新設した項目は、平成18年度調査の指数を「0」としている。指数「0」のとき、満足でも不満でもない中立的な評価を意味する。

表5 - 3 年代別にみた満足度上位5項目

満足度	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1位	23.医療体制 1.1	23.医療体制 1.0	8.上水道の整備 1.2	8.上水道の整備 1.2	8.上水道の整備 1.5	8.上水道の整備 1.6
2位	15.公園・緑地の整備 1.0	8.上水道の整備 1.0	23.医療体制 0.9	9.下水道の整備 0.8	9.下水道の整備 1.2	7.ごみ処理・リサイクル 1.3
3位	8.上水道の整備 0.9	1.消防・防災 0.9	9.下水道の整備 0.9	23.医療体制 0.8	1.消防・防災 1.1	9.下水道の整備 1.3
4位	1.消防・防災 0.9	9.下水道の整備 0.8	1.消防・防災 0.7	7.ごみ処理・リサイクル 0.6	7.ごみ処理・リサイクル 1.1	1.消防・防災 1.2
5位	16.自然環境保全 0.8	15.公園・緑地の整備 0.6	10.まちなみ景観 0.6	1.消防・防災 0.6	23.医療体制 1.1	23.医療体制 1.1

(注) 評価指数については、各項目の回答割合の加重平均(-4,-2,0,2,4)により算出。

表5 - 4 年代別にみた不満度上位5項目

不満度	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1位	36.観光の振興 0.8	36.観光の振興 0.9	36.観光の振興 0.8	36.観光の振興 4.0	33.商業の振興 0.7	33.商業の振興 0.5
2位	44.市の財政運営 0.5	44.市の財政運営 0.7	44.市の財政運営 0.7	33.商業の振興 0.8	34.工業の振興 0.6	34.工業の振興 0.5
3位	43.市の仕事の効率性 0.5	33.商業の振興 0.7	33.商業の振興 0.7	34.工業の振興 0.8	36.観光の振興 0.6	36.観光の振興 0.4
4位	33.商業の振興 0.5	43.市の仕事の効率性 0.6	43.市の仕事の効率性 0.6	44.市の財政運営 0.8	44.市の財政運営 0.4	35.農業の振興 0.2
5位	39.NPO団体や市民ボランティアの登録促進 0.5	41.他市町村との連携 0.5	34.工業の振興 0.6	43.市の仕事の効率性 0.8	43.市の仕事の効率性 0.3	38.まちづくり活動に参加する機会 0.1

(注) 評価指数については、各項目の回答割合の加重平均(-4,-2,0,2,4)により算出。

表5 - 5 地区別にみた満足度上位5項目

満足度	南河内地区	石橋地区	国分寺地区
1位	8. 上水道の整備 1.3	1. 消防・防災 1.2	8. 上水道の整備 1.2
2位	9. 下水道の整備 1.1	8. 上水道の整備 1.2	23. 医療体制 1.0
3位	23. 医療体制 1.1	23. 医療体制 0.9	9. 下水道の整備 1.0
4位	10. まちなみ景観 0.9	7. ごみ処理・リサイクル 0.8	7. ごみ処理・リサイクル 0.8
5位	15. 公園・緑地の整備 0.8	9. 下水道の整備 0.8	1. 消防・防災 0.7

(注) 評価指数については、各項目の回答割合の加重平均(-4,-2,0,2,4)により算出。

表5 - 6 地区別にみた不満足度上位5項目

不満足度	南河内地区	石橋地区	国分寺地区
1位	36. 観光の振興 0.8	36. 観光の振興 0.9	33. 商業の振興 0.8
2位	44. 市の財政運営 0.5	33. 商業の振興 0.8	34. 工業の振興 0.7
3位	43. 市の仕事の効率性 0.4	34. 工業の振興 0.6	44. 市の財政運営 0.6
4位	34. 工業の振興 0.4	44. 市の財政運営 0.4	36. 観光の振興 0.5
5位	33. 商業の振興 0.3	43. 市の仕事の効率性 0.4	43. 市の仕事の効率性 0.5

(注) 評価指数については、各項目の回答割合の加重平均(-4,-2,0,2,4)により算出。

D 今後の行政と市民との関係のあり方について

問6 . 公共サービスを受けるなどの「権利」と、市民としての「義務」との関係

公共サービスを受けるなどの「権利」と、市民としての「義務」との関係についての考えをうかがったところ、表6 - 1、図6 - 1のようになりました。「5 . 一概に言えない・分からない」と回答した27.2%を除くと、「1 . 税金や公共料金を極力安くして、公共サービスを負担額に見合ったサービス内容にするべき」との回答が26.5%と最も多くなっています。このことから、公共サービスを受けるなどの受益を多少放棄しても、経済的負担を軽減してほしいとの意見が約4分の1を占めています。次いで「3 . 公共サービスの一端を市民やボランティアが担うことによって、税金などの負担を軽減すべき」との回答が18.2%となっています。

平成18年度調査と比較すると、「1 . 税金や公共料金を極力安くして、公共サービスを負担額に見合ったサービス内容にするべき」「3 . 公共サービスの一端を市民やボランティアが担うことによって、税金などの負担を軽減すべき」との回答割合が低下する一方で、「2 . 税金や公共料金が多少高くなっても、公共サービスを充実させていくべき」との回答割合が上昇しています。平成22年度調査では、平成18年度調査に比べて、回答が分散しています。

問6 あなたは、公共サービス(福祉、教育、基盤整備など)を受けるなどの「権利」と、市民としての「義務」との関係についてどのようにお考えになりますか。次の中からあなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、その番号を で囲んでください。

<年代別>

年代別にみると、表6 - 2、図6 - 2のようになりました。「1 . 税金や公共料金を極力安くして、公共サービスを負担額に見合ったサービス内容にするべき」との回答割合がすべての年代で最も高く、さらに年代が高くなるほど高い傾向がみられます。次いで、「3 . 公共サービスの一端を市民やボランティアが担うことによって、税金などの負担を軽減すべき」との回答割合が、全ての年代において2番目になっています。

<地区別>

地区別にみると、表6 - 3、図6 - 3のようになりました。地区による傾向は見られず、どの地区でも「1 . 税金や公共料金を極力安くして、公共サービスを負担額に見合ったサービス内容にするべき」の割合が高く、次いで「3 . 公共サービスの一端を市民やボランティアが担うことによって、税金などの負担を軽減すべき」となっています。

表6 - 1 公共サービスを受ける権利と義務の関係について (単位:人、%)

	調査数	税金や公共料金を極力安くして、公共サービスを負担額に見合ったサービス内容にするべき	税金や公共料金が多少高くなっても、公共サービスを充実させていくべき	公共サービスの一端を市民やボランティアが担うことによって、税金などの負担を軽減すべき	公共サービスの一端を市民やボランティアが担うことによって、余ったお金や人材を新たな公共サービスに振り向けるべき	一概には言えない・わからない	無回答
平成 22 年度 回答者数 割合	3,621 100	961 26.5	431 11.9	659 18.2	464 12.8	985 27.2	121 3.3
平成 18 年度 回答者数 割合	3,357 100	1,014 30.2	284 8.5	774 23.1	438 13.0	738 22.0	109 3.2

図6 - 1 公共サービスを受ける権利と義務の関係について

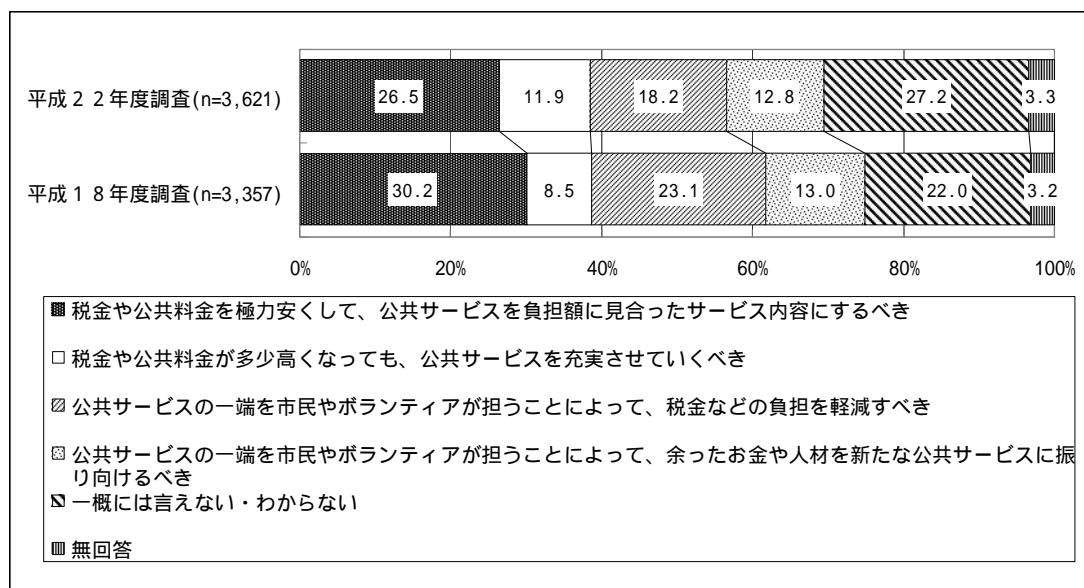


表6 - 2 年代別にみた公共サービスを受ける権利と義務の関係

(単位：人、%)

	調査数	税金や公共料金を極力安くして、公共サービスを負担額に見合ったサービス内容にするべき	税金や公共料金が多少高くなっても、公共サービスを充実させていくべき	公共サービスの一端を市民やボランティアが担うことによって、税金などの負担を軽減すべき	公共サービスの一端を市民やボランティアが担うことによって、余ったお金や人材を新たな公共サービスに振り向けるべき	一概には言えない・わからない	無回答
全体	3,621 100	961 26.5	431 11.9	659 18.2	464 12.8	985 27.2	121 3.3
20歳代	559 100	133 23.8	84 15.0	101 18.1	79 14.1	158 28.3	4 0.7
30歳代	604 100	142 23.5	86 14.2	125 20.7	89 14.7	153 25.3	9 1.5
40歳代	571 100	160 28.0	54 9.5	97 17.0	75 13.1	172 30.1	13 2.3
50歳代	592 100	162 27.4	73 12.3	108 18.2	75 12.7	153 25.8	21 3.5
60歳代	603 100	177 29.4	61 10.1	123 20.4	68 11.3	152 25.2	22 3.6
70歳以上	654 100	177 27.1	69 10.6	100 15.3	73 11.2	188 28.7	47 7.2

図6 - 2 年代別にみた公共サービスを受ける権利と義務の関係

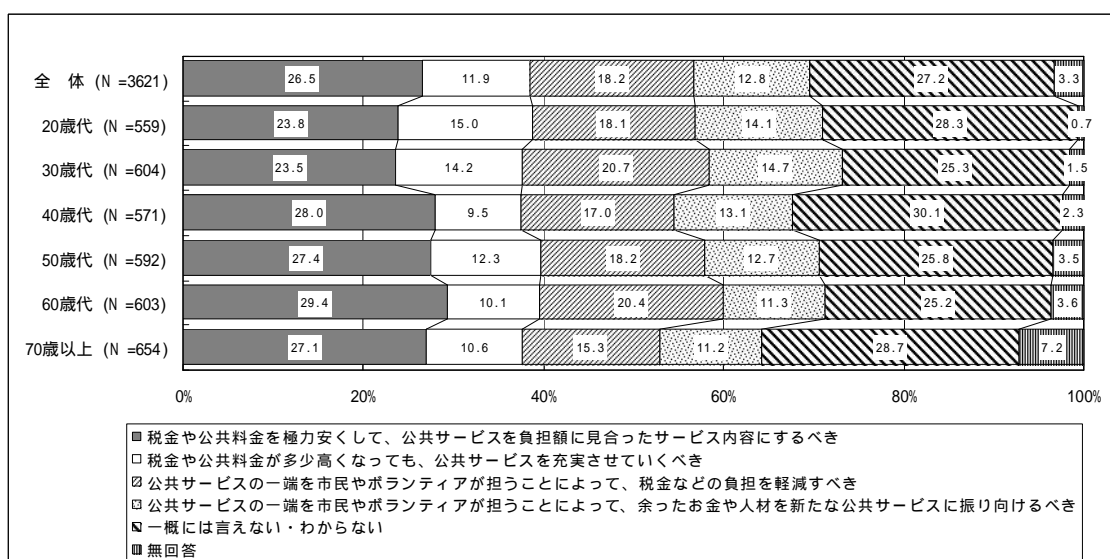
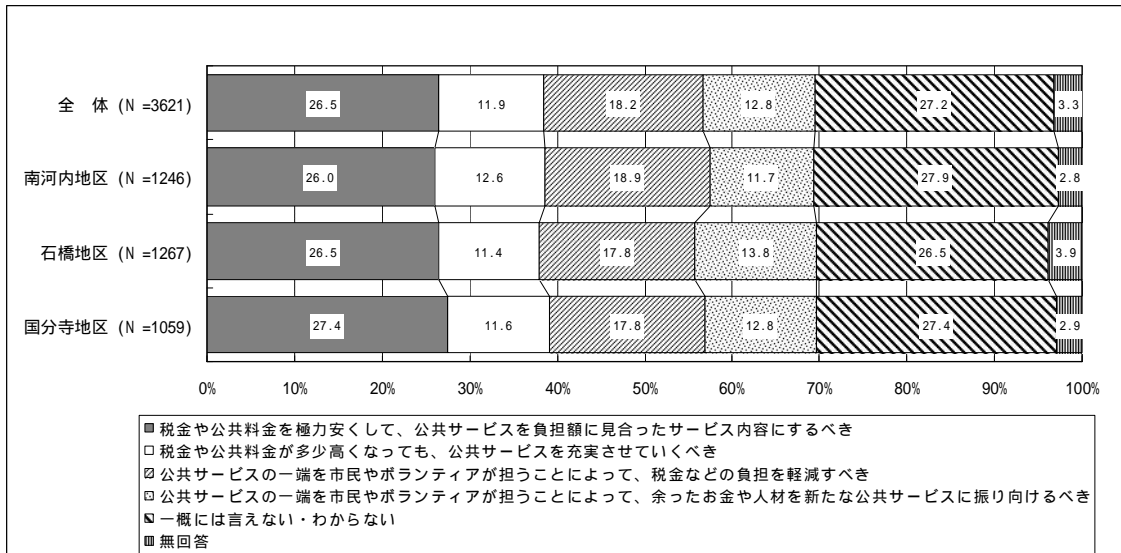


表6 - 3 地区別にみた公共サービスを受ける権利と義務の関係

(単位：人、%)

	調査数	税金や公共料金を極力安くして、公共サービスを負担額に見合ったサービス内容にするべき	税金や公共料金が多少高くなっても、公共サービスを充実させていくべき	公共サービスの一端を市民やボランティアが担うことによって、税金などの負担を軽減すべき	公共サービスの一端を市民やボランティアが担うことによって、余ったお金や人材を新たな公共サービスに振り向けるべき	一概には言えない・わからない	無回答
全体	3,621 100	961 26.5	431 11.9	659 18.2	464 12.8	985 27.2	121 3.3
南河内地区	1,246 100	324 26.0	157 12.6	236 18.9	146 11.7	348 27.9	35 2.8
石橋地区	1,267 100	336 26.5	144 11.4	226 17.8	175 13.8	336 26.5	50 3.9
国分寺地区	1,059 100	290 27.4	123 11.6	189 17.8	136 12.8	290 27.4	31 2.9

図6 - 3 地区別にみた公共サービスを受ける権利と義務の関係



問7．ボランティアやコミュニティ活動についての関心

ボランティアやコミュニティ活動に対する参加意欲についてうかがったところ、表7-1、図7-1のようになりました。「5．自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」という回答が約半数（51.6%）と最も多い一方、「1．社会貢献活動（ボランティア・コミュニティなど）に参加する」という積極的な意見も30.2%と高くなっています。次いで、「2．地域社会（自治会・PTAなど）の活動に参加する」との回答は25.1%となっており、「4．自分と異なる世代（幼児・子ども・お年寄りなど）と交流する」（23.3%）との回答や「3．市民の自主的な集まり（まちづくりのグループ等）があれば参加する」（22.1%）との回答とともに約4分の1の回答者が積極的な意見を寄せています。

一方で、「6．とくにやりたいことはない」といったまちづくりへの参加に消極的な回答は、15.3%と比較的低い割合にとどまっています。平成18年度調査と比較して大きな変化はみられません。

<年代別>

ボランティアやコミュニティ活動についての関心を年代別にみると、表7-2、図7-2のようになりました。すべての年代において「5．自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」が最も高くなっています。次いで、20歳代では「4．自分と異なる世代と交流する」が高くなっており、30歳代、40歳代では、「2．地域社会（自治会・PTAなど）の活動に参加する」、50歳代、60歳代では「1．社会貢献活動（ボランティア・コミュニティなど）に参加する」、70歳以上では、「3．市民の自主的な集まり（まちづくりのグループ等）があれば参加する」となっており、比較的若い世代と比較的高年の世代で異なる傾向がみられます。また、「5．自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」の割合は、年齢が高くなるにつれ高くなる傾向があり、20歳代では37.6%であるのに対し、60歳代では63.3%と25ポイント以上の差が開いています。

<地区別>

ボランティアやコミュニティ活動についての関心を地区別にみると、表7-3、図7-3のようになりました。地区間で大きな差はみられず、同じ傾向を示しています。

問7 ボランティアやコミュニティ活動について、あなたはどのような活動に力を注いでいきたいと考えますか。次の中から関心のあるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

表7-1 ボランティアやコミュニティ活動についての関心（複数回答）

（単位：人、％）

	調査数	社会貢献活動（ボランティア・コミュニティなど）に参加する	地域社会（自治会・PTAなど）の活動に参加する	市民の自主的な集まり（まちづくりのグループ等）があれば参加する	自分と異なる世代（幼児・子ども・お年寄りなど）と交流する	自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ	とくにやりたいことはない	その他	わからない	無回答
平成22年度 回答者数 割合	3,621 100	1,092 30.2	910 25.1	802 22.1	845 23.3	1,867 51.6	553 15.3	100 2.8	357 9.9	98 2.7
平成18年度 回答者数 割合	3,357 100	1,009 30.1	829 24.7	794 23.7	774 23.1	1,663 49.5	468 13.9	76 2.3	325 9.7	85 2.5

（注）複数回答のため各選択肢の回答者数を合計しても3,621にならない。また、回答者割合の合計は100%にならない。以下同様。

図7-1 ボランティアやコミュニティ活動についての関心（複数回答）

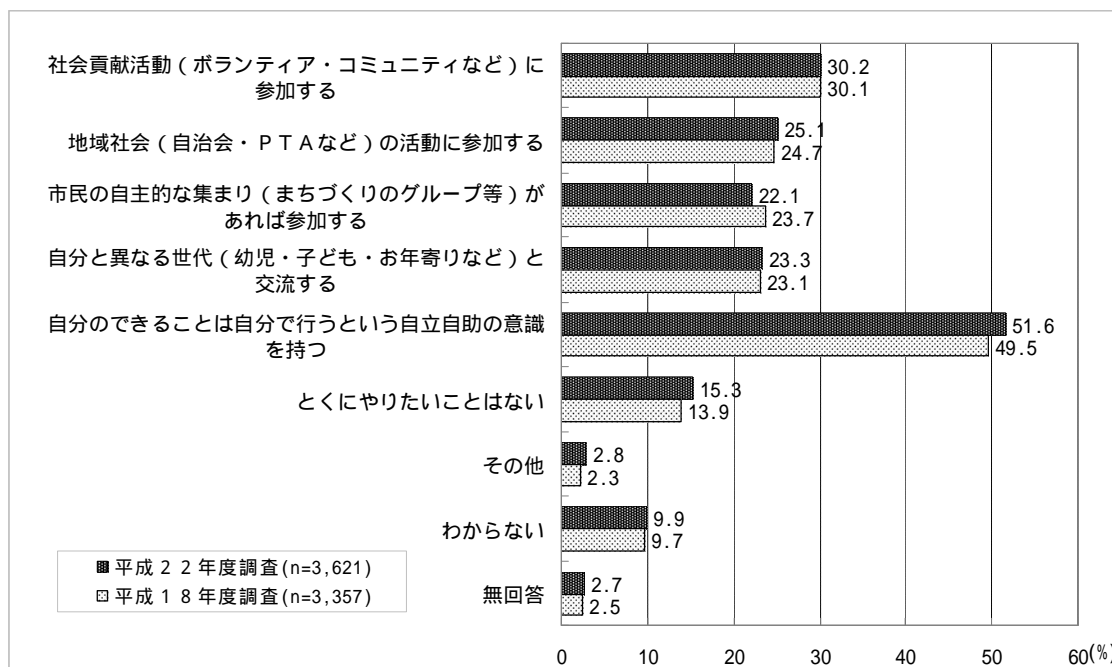


表7 - 2 年代別にみたボランティアやコミュニティ活動への参加意欲（複数回答）

（単位：人、％）

	調査数	社会貢献活動（ボランティア・コミュニティなど）に参加する	地域社会（自治会・PTAなど）の活動に参加する	市民の自主的な集まり（まちづくりのグループ等）があれば参加する	自分と異なる世代（幼児・子ども・お年寄りなど）と交流する	自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ	とくにやりたいことはない	その他	わからない	無回答
全 体	3,621 100	1,092 30.2	910 25.1	802 22.1	845 23.3	1,867 51.6	553 15.3	100 2.8	357 9.9	98 2.7
20 歳代	559 100	183 32.7	88 15.7	105 18.8	193 34.5	210 37.6	100 17.9	11 2.0	64 11.4	4 0.7
30 歳代	604 100	164 27.2	182 30.1	127 21.0	172 28.5	240 39.7	86 14.2	17 2.8	54 8.9	9 1.5
40 歳代	571 100	162 28.4	189 33.1	96 16.8	117 20.5	249 43.6	91 15.9	11 1.9	48 8.4	6 1.1
50 歳代	592 100	213 36.0	152 25.7	148 25.0	102 17.2	321 54.2	88 14.9	21 3.5	56 9.5	11 1.9
60 歳代	603 100	217 36.0	153 25.4	161 26.7	107 17.7	415 68.8	76 12.6	14 2.3	55 9.1	19 3.2
70 歳以上	654 100	144 22.0	137 20.9	161 24.6	147 22.5	414 63.3	107 16.4	24 3.7	79 12.1	45 6.9

図7-2 年代別にみたボランティアやコミュニティ活動への参加意欲（複数回答）

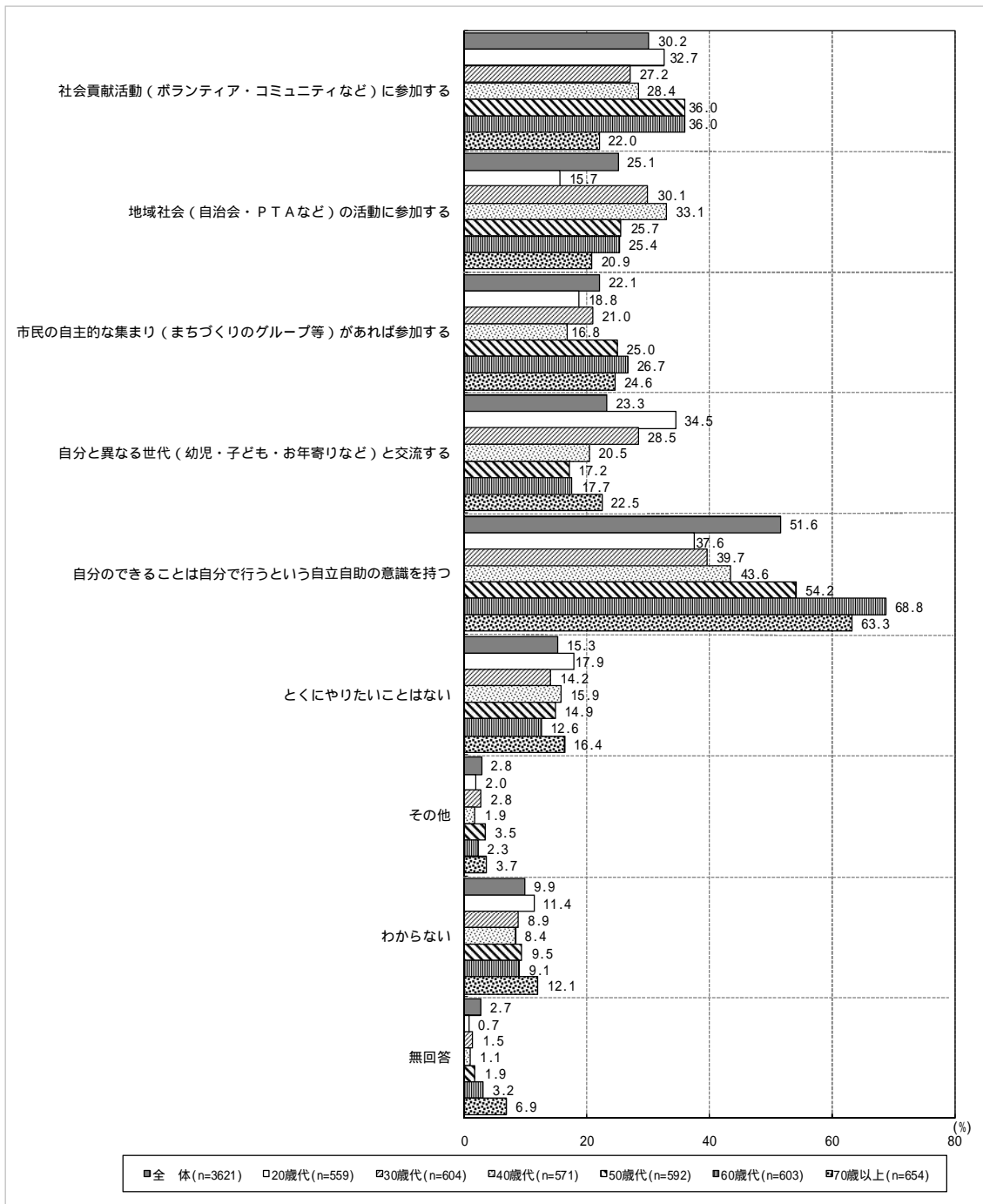
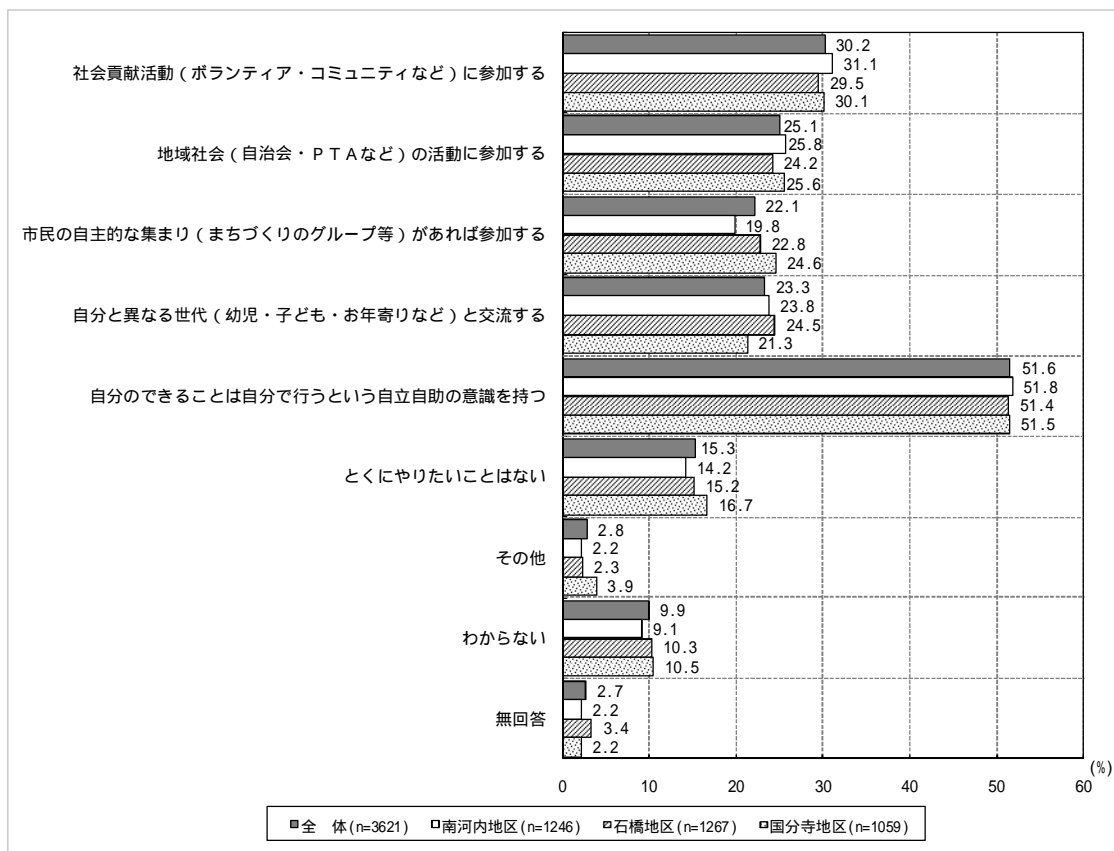


表 7 - 3 地区別にみたボランティアやコミュニティ活動への参加意欲（複数回答）

（単位：人、％）

	調査数	社会貢献活動（ボランティア・コミュニティなど）に参加する	地域社会（自治会・PTAなど）の活動に参加する	市民の自主的な集まり（まちづくりのグループ等）があれば参加する	自分と異なる世代（幼児・子ども・お年寄りなど）と交流する	自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ	とくにやりたいことはない	その他	わからない	無回答
全 体	3,621 100	1,092 30.2	910 25.1	802 22.1	845 23.3	1,867 51.6	553 15.3	100 2.8	357 9.9	98 2.7
南河内地区	1,246 100	388 31.1	322 25.8	247 19.8	297 23.8	646 51.8	177 14.2	28 2.2	114 9.1	27 2.2
石橋地区	1,267 100	374 29.5	306 24.2	289 22.8	311 24.5	651 51.4	192 15.2	29 2.3	130 10.3	43 3.4
国分寺地区	1,059 100	319 30.1	271 25.6	260 24.6	226 21.3	545 51.5	177 16.7	41 3.9	111 10.5	23 2.2

図 7 - 3 地区別にみたボランティアやコミュニティ活動への参加意欲（複数回答）



E 今後の市（行政）の取り組みについて

問8 . 今後力を入れて欲しい行政施策

行政施策のうち、今後力を入れて欲しい取り組みについてうかがったところ、表8 - 1、図8 - 1のようになりました。最も回答が多かったのは、「高齢者福祉」で26.3%、次いで「防犯」が19.2%、「保険・年金」が16.0%、「市の財政運営」が14.3%となっています。

<年代別>

年代別にみると、表8 - 2、図8 - 2のようになりました。「防犯」については、どの年代層でも割合が高く、1番目か2番目にあがっています。年齢が低いほど割合が上昇する傾向にあるのは、「商業の振興」、「児童福祉」、「医療体制」などです。一方で、年齢が高いほど割合が上昇する傾向にあるのは、「高齢者福祉」、「保険・年金」、「下水道の整備」、「ごみ処理・リサイクル」などです。ただし、「保険・年金」については20歳代で2番目にあがっています。また、「小中学校の教育」は30歳代、40歳代の回答割合が高くなっています。

<地区別>

地区別にみると、表8 - 3、図8 - 3のようになりました。地区の間で割合に5ポイント以上の大きな差がみられるのが、「防犯」、「商業の振興」です。「防犯」は石橋地区で他の2地区より割合が7ポイント前後低くなっています。「商業の振興」については、南河内地区で他の2地区より6ポイント前後低くなっています。

問8 あなたは行政施策のうち、どの項目に力を入れて欲しいと思いますか。次の1～44の項目の中から適当と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

表8 - 1 今後力を入れて欲しい行政施策（複数回答）

（単位：人、％）

	調査数	消防・防災	防犯	消費者保護の取り組み	交通安全対策	公害対策	環境対策	ごみ処理・リサイクル	上水道の整備	下水道の整備	まちなみ景観	土地利用における秩序の確保
回答者数	3,621	145	695	159	240	100	241	402	46	265	131	78
割合	100	4.0	19.2	4.4	6.6	2.8	6.7	11.1	1.3	7.3	3.6	2.2

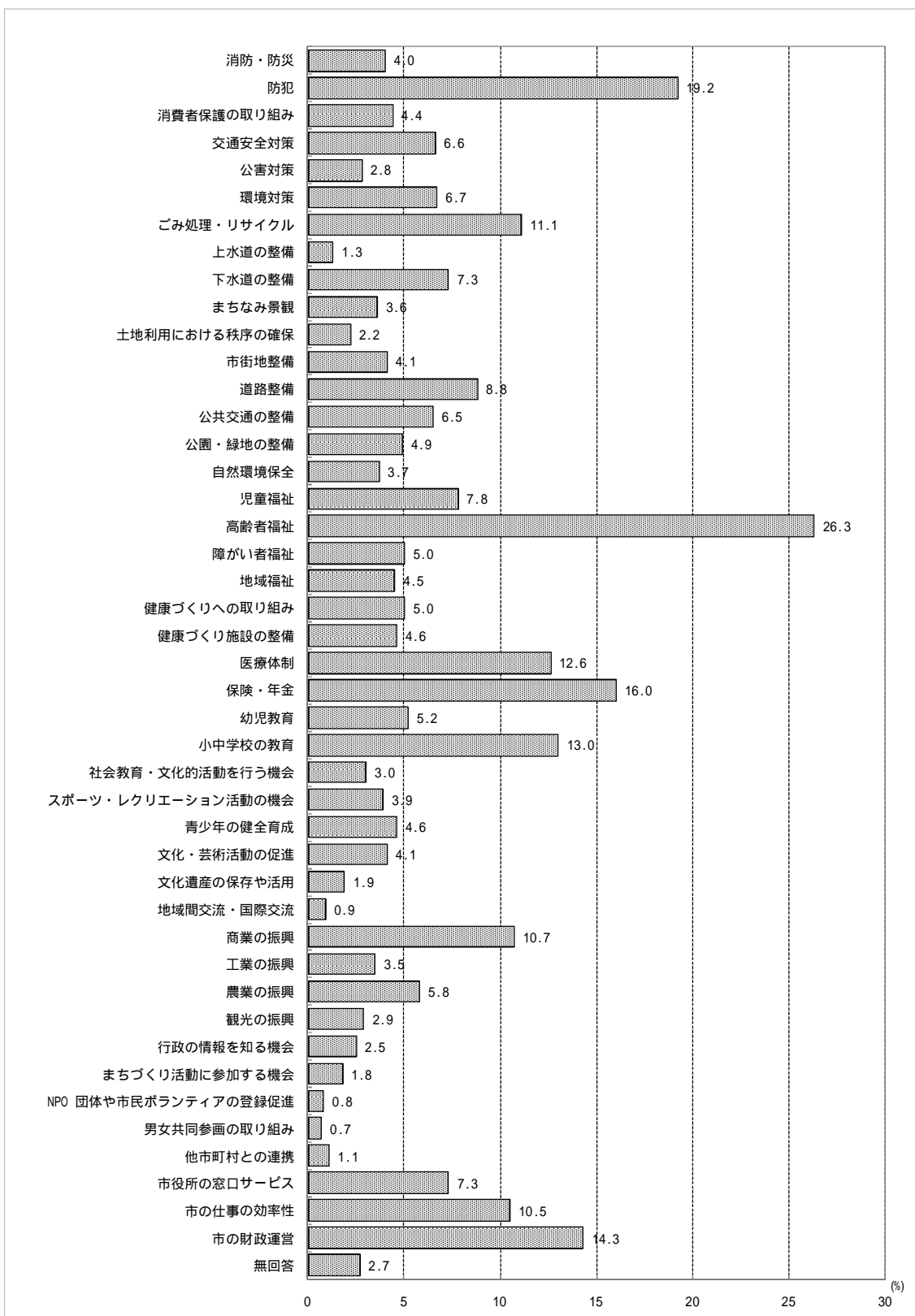
	市街地整備	道路整備	公共交通の整備	公園・緑地の整備	自然環境保全	児童福祉	高齢者福祉	障がい者福祉	地域福祉	健康づくりへの取り組み	健康づくり施設の整備	医療体制
回答者数	149	317	234	179	134	282	954	181	164	181	166	455
割合	4.1	8.8	6.5	4.9	3.7	7.8	26.3	5.0	4.5	5.0	4.6	12.6

	保険・年金	幼児教育	小中学校の教育	社会教育・文化的活動を行う機会	スポーツ・レクリエーション活動の機会	青少年の健全育成	文化・芸術活動の促進	文化遺産の保存や活用	地域間交流・国際交流	商業の振興	工業の振興	農業の振興
回答者数	578	187	469	107	142	165	149	70	32	386	128	211
割合	16.0	5.2	13.0	3.0	3.9	4.6	4.1	1.9	0.9	10.7	3.5	5.8

	観光の振興	行政の情報を知る機会	まちづくり活動に参加する機会	NPO団体や市民ボランティアの登録促進	男女共同参画の取り組み	他市町村との連携	市役所の窓口サービス	市の仕事の効率性	市の財政運営	無回答
回答者数	104	91	64	30	27	39	265	380	517	97
割合	2.9	2.5	1.8	0.8	0.7	1.1	7.3	10.5	14.3	2.7

（注）複数回答のため各選択肢の回答者数を合計しても3621にならない。また、回答者割合の合計は100%にならない。以下同様。

図8-1 今後力を入れて欲しい行政施策（複数回答）



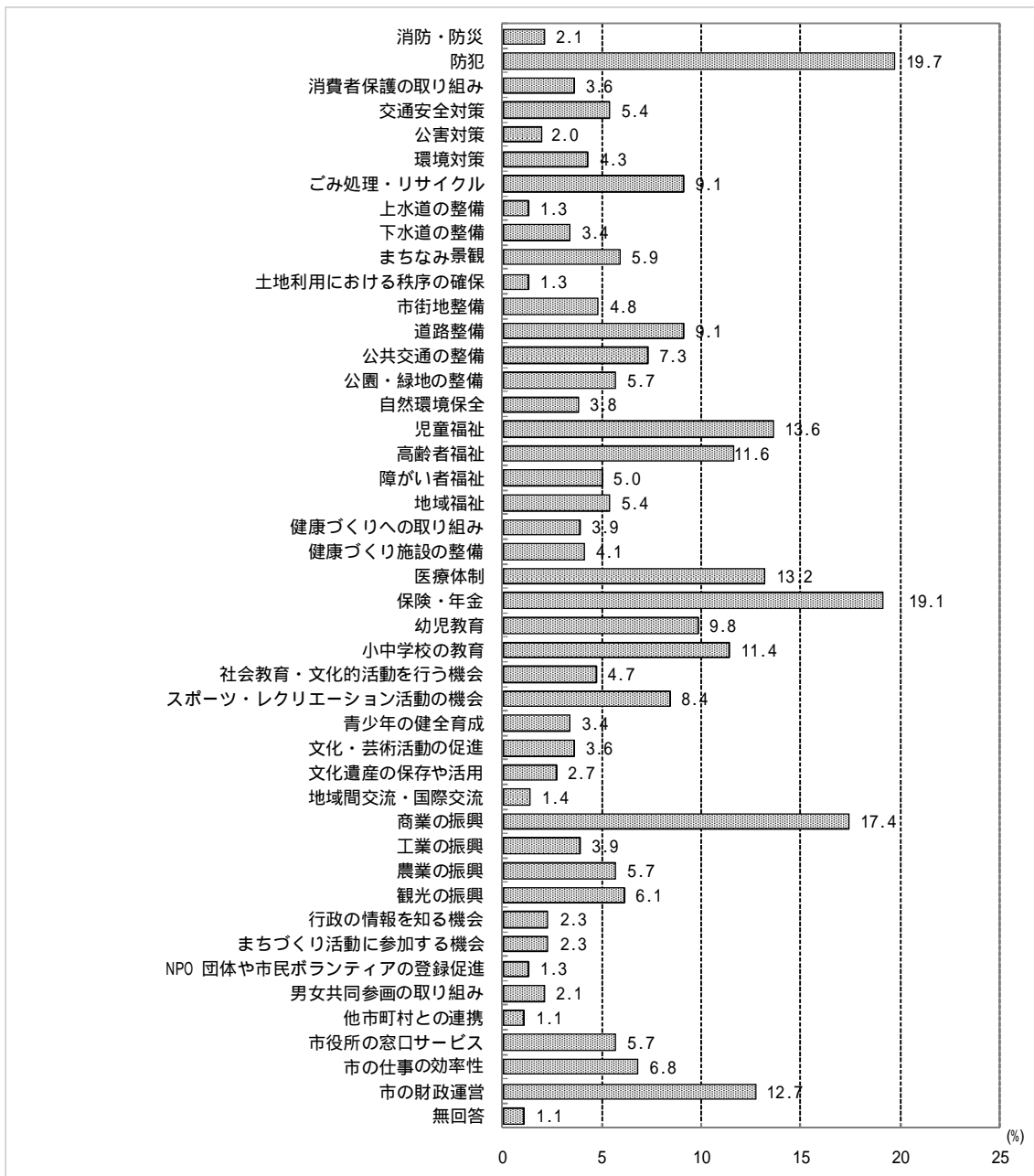
(n=3,621)

表 8 - 2 年代別にみた今後力を入れて欲しい行政施策（10位まで）（複数回答）

（単位：％）

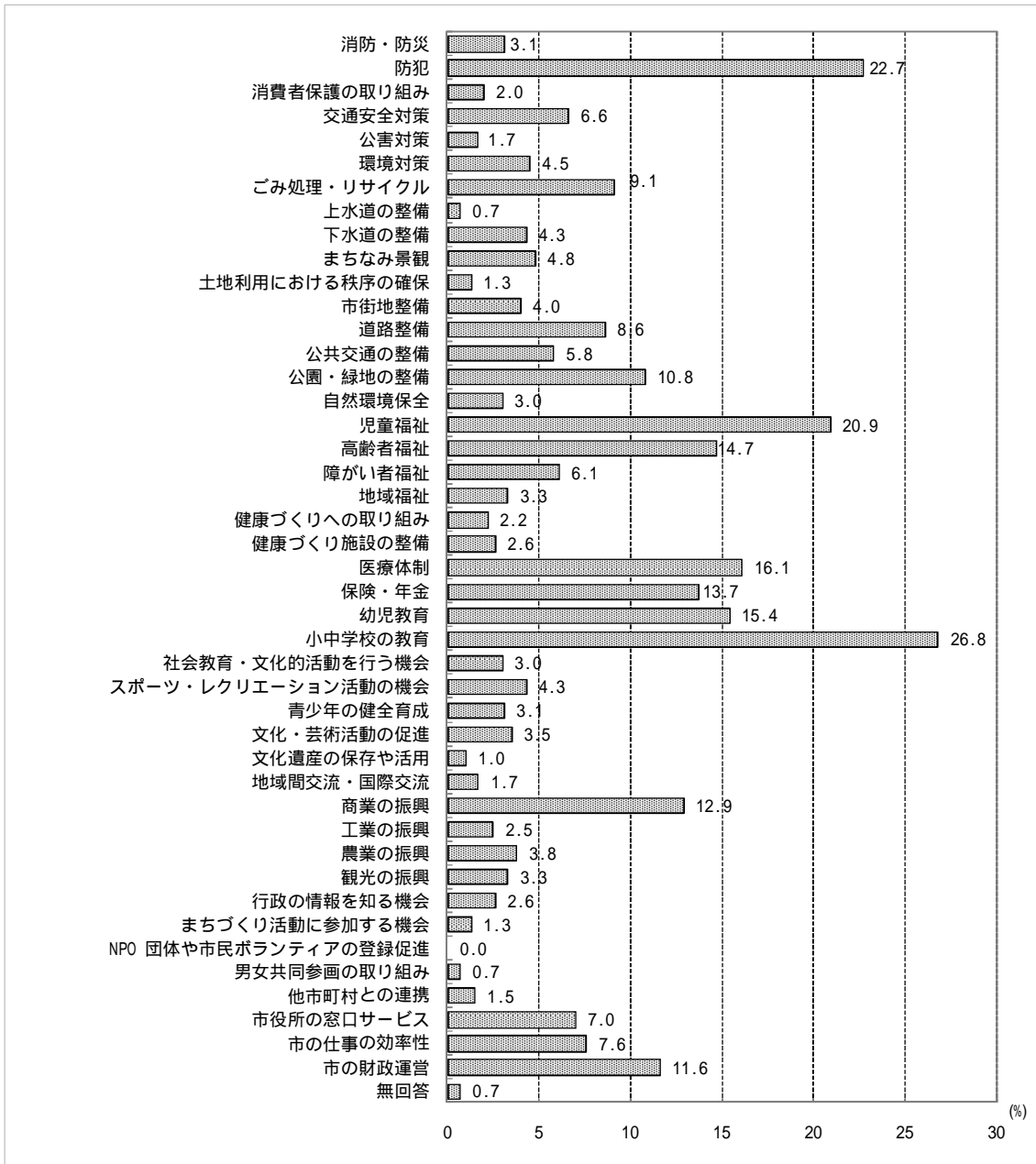
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1位	防犯 19.7	小中学校の教育 26.8	防犯 22.9	高齢者福祉 29.9	高齢者福祉 35.3	高齢者福祉 43.7
2位	保険・年金 19.1	防犯 22.7	小中学校の教育 21.4	防犯 18.1	保険・年金 18.4	防犯 15.6
3位	商業の振興 17.4	児童福祉 20.9	高齢者福祉 20.3	保険・年金 17.9	防犯 17.6	保険・年金 13.9
4位	児童福祉 13.6	医療体制 16.1	医療体制 15.4	ごみ処理・リサイクル 12.0	ごみ処理・リサイクル 14.9	ごみ処理・リサイクル 11.6
5位	医療体制 13.2	幼児教育 15.4	保険・年金 13.8	医療体制 11.8	下水道の整備 11.8	医療体制 10.4
6位	高齢者福祉 11.6	高齢者福祉 14.7	商業の振興 12.8	下水道の整備 11.0	医療体制 9.3	交通安全対策 9.5
7位	小中学校の教育 11.4	保険・年金 13.7	ごみ処理・リサイクル 9.5	商業の振興 9.3	環状策 8.6	道路整備 9.5
8位	幼児教育 9.8	商業の振興 12.9	道路整備 8.9	道路整備 8.6	健康づくりへの取り組み 8.0	消費者保護の取り組み 8.9
9位	ごみ処理・リサイクル 9.1	公園・緑地の整備 10.8	公共交通の整備 8.2	小中学校の教育 8.1	道路整備 7.6	下水道の整備 8.1
10位	道路整備 9.1	ごみ処理・リサイクル 9.1	児童福祉 6.7	環状策 7.9	健康づくり施設の整備 7.3	農業の振興 7.8

図8 - 2 (1) 年代別にみた今後力を入れて欲しい行政施策 (20 歳代) (複数回答)



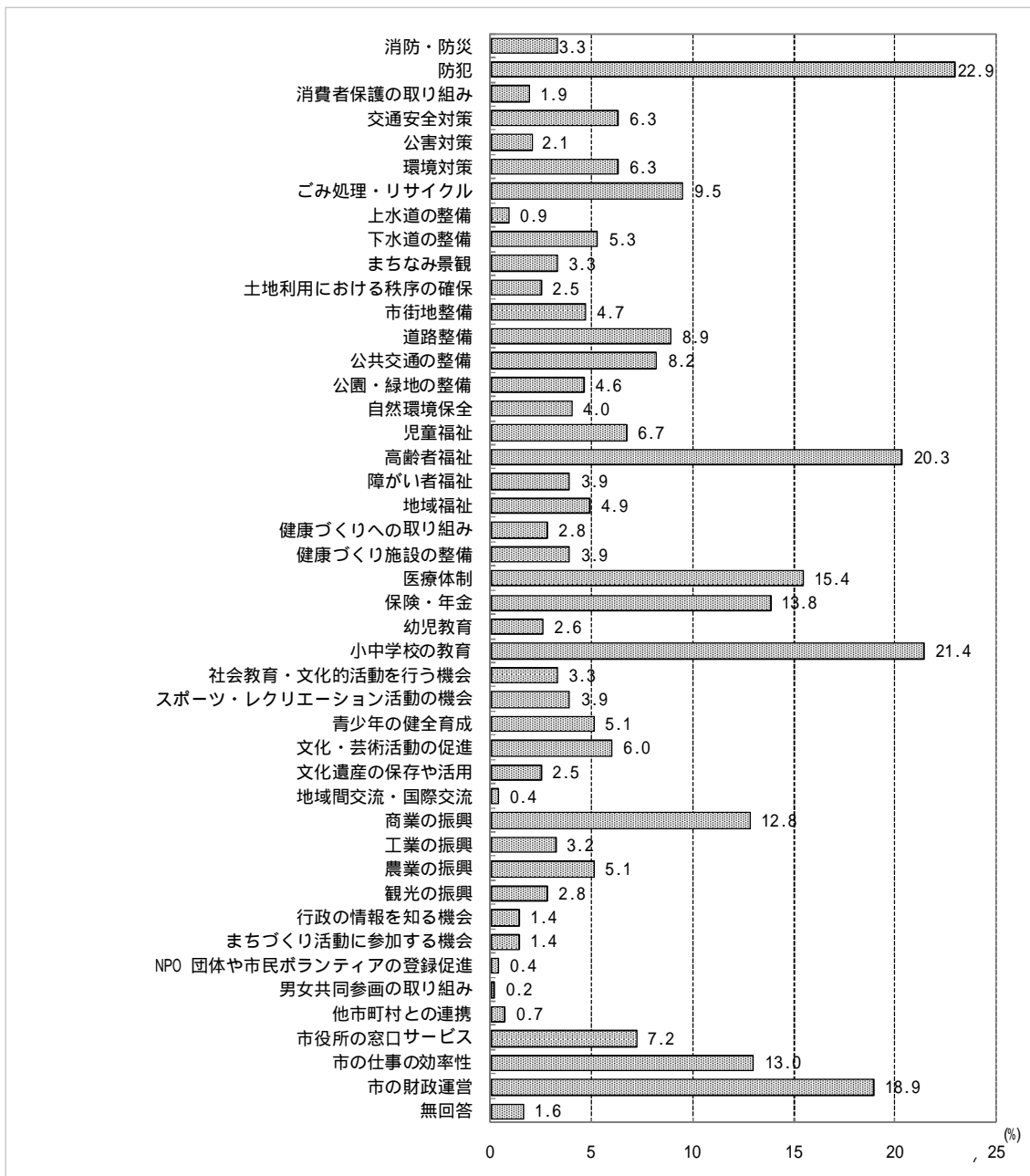
(n=559)

図8 - 2 (2) 年代別にみた今後力を入れて欲しい行政施策 (30 歳代) (複数回答)



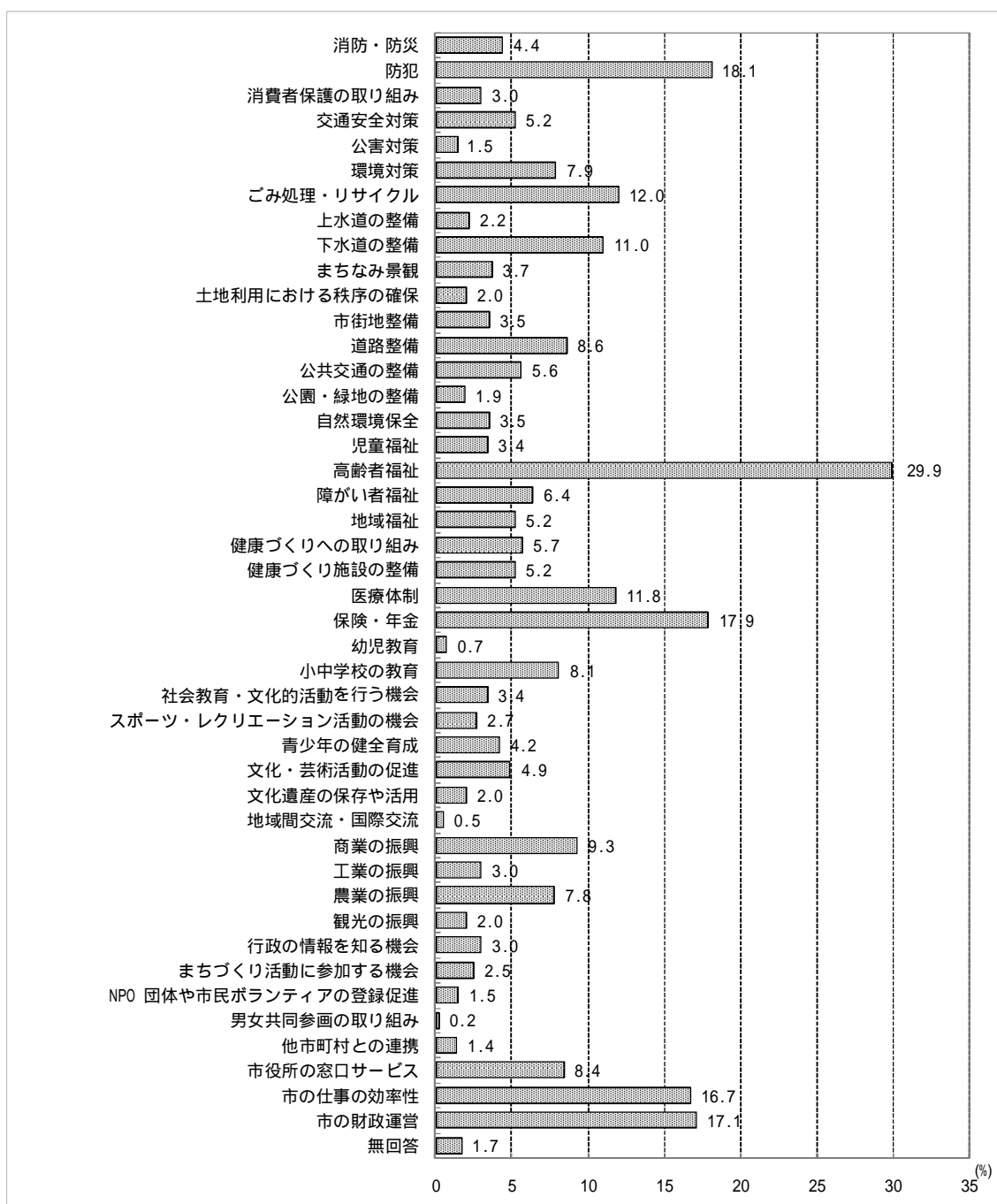
(n= 604)

図 8 - 2 (3) 年代別にみた今後力を入れて欲しい行政施策 (40 歳代) (複数回答)



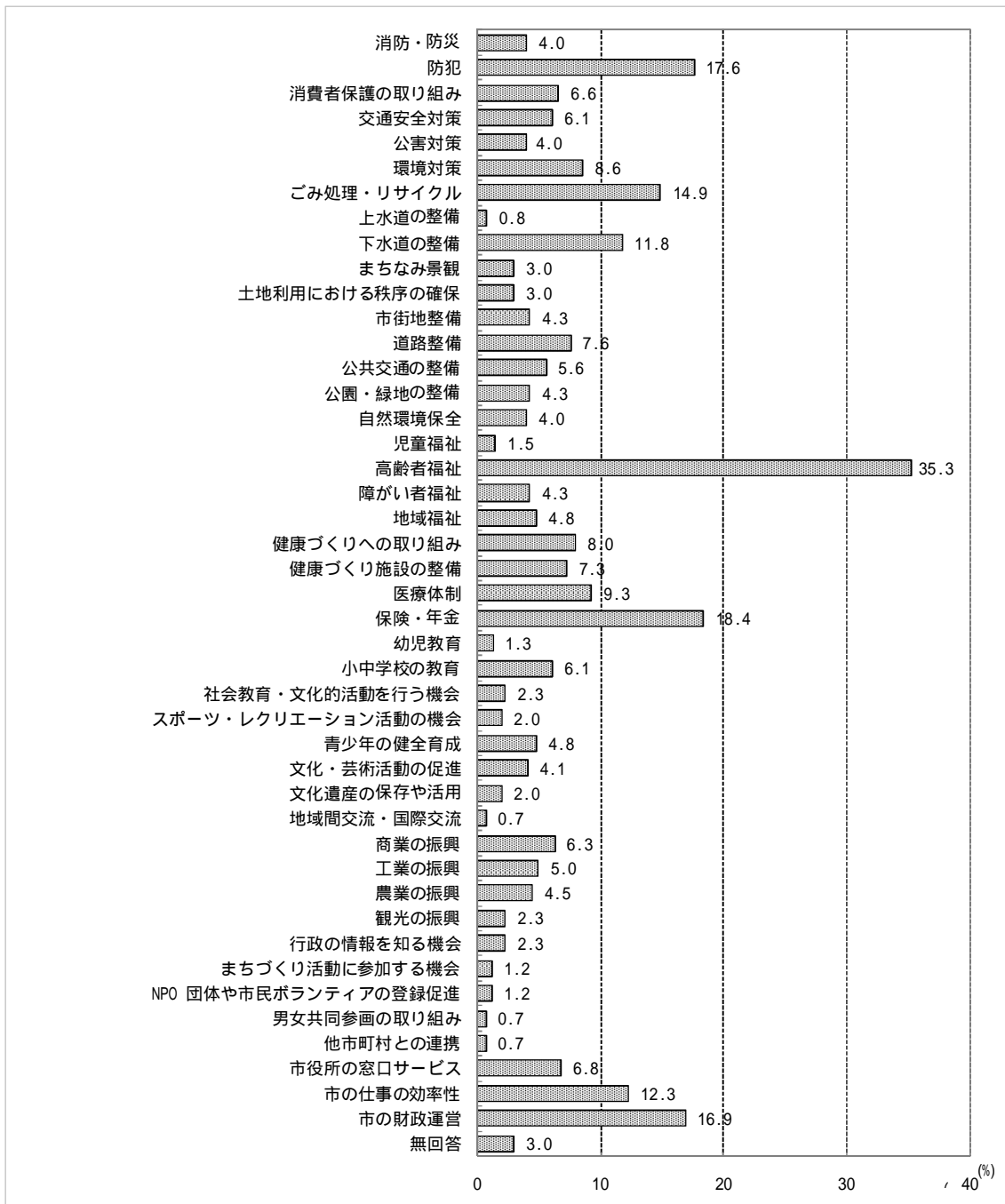
(n= 571)

図8 - 2 (4) 年代別にみた今後力を入れて欲しい行政施策 (50 歳代) (複数回答)



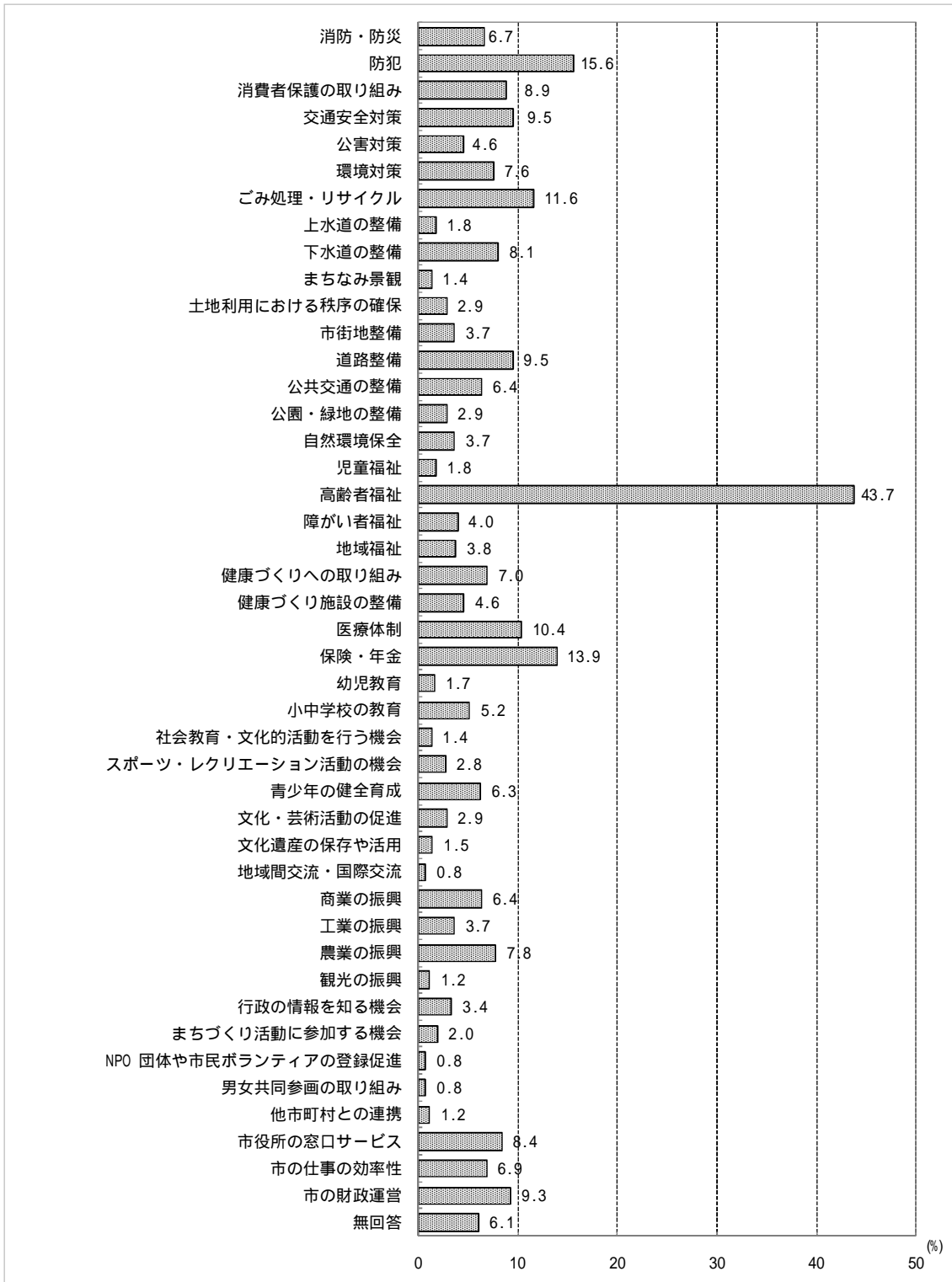
(n= 592)

図8 - 2 (5) 年代別にみた今後力を入れて欲しい行政施策 (60 歳代) (複数回答)



(n= 603)

図8 - 2 (6) 年代別にみた今後力を入れて欲しい行政施策 (70 歳以上) (複数回答)



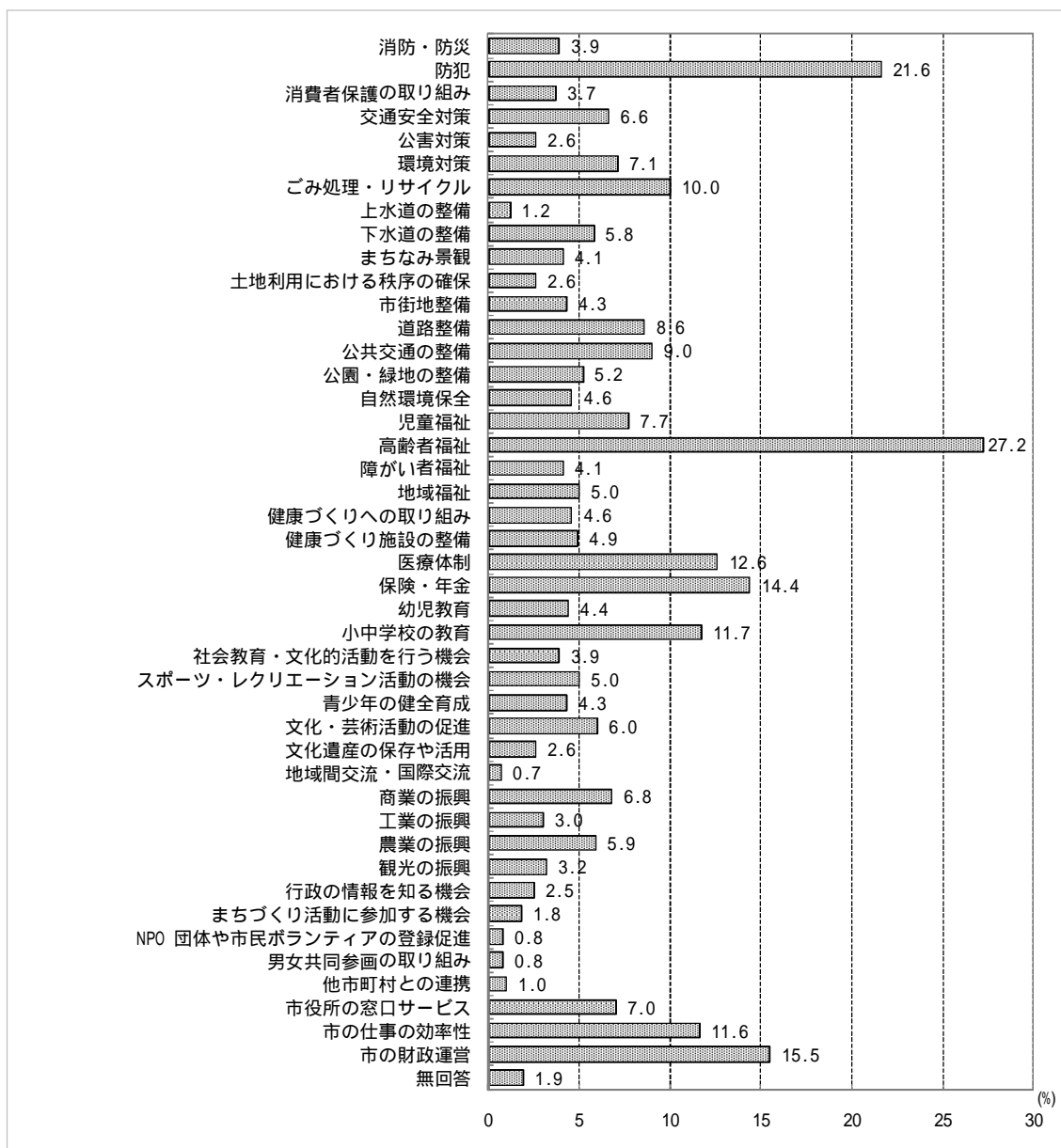
(n= 654)

表 8 - 3 地区別にみた今後力を入れて欲しい行政施策（10位まで）（複数回答）

（単位：％）

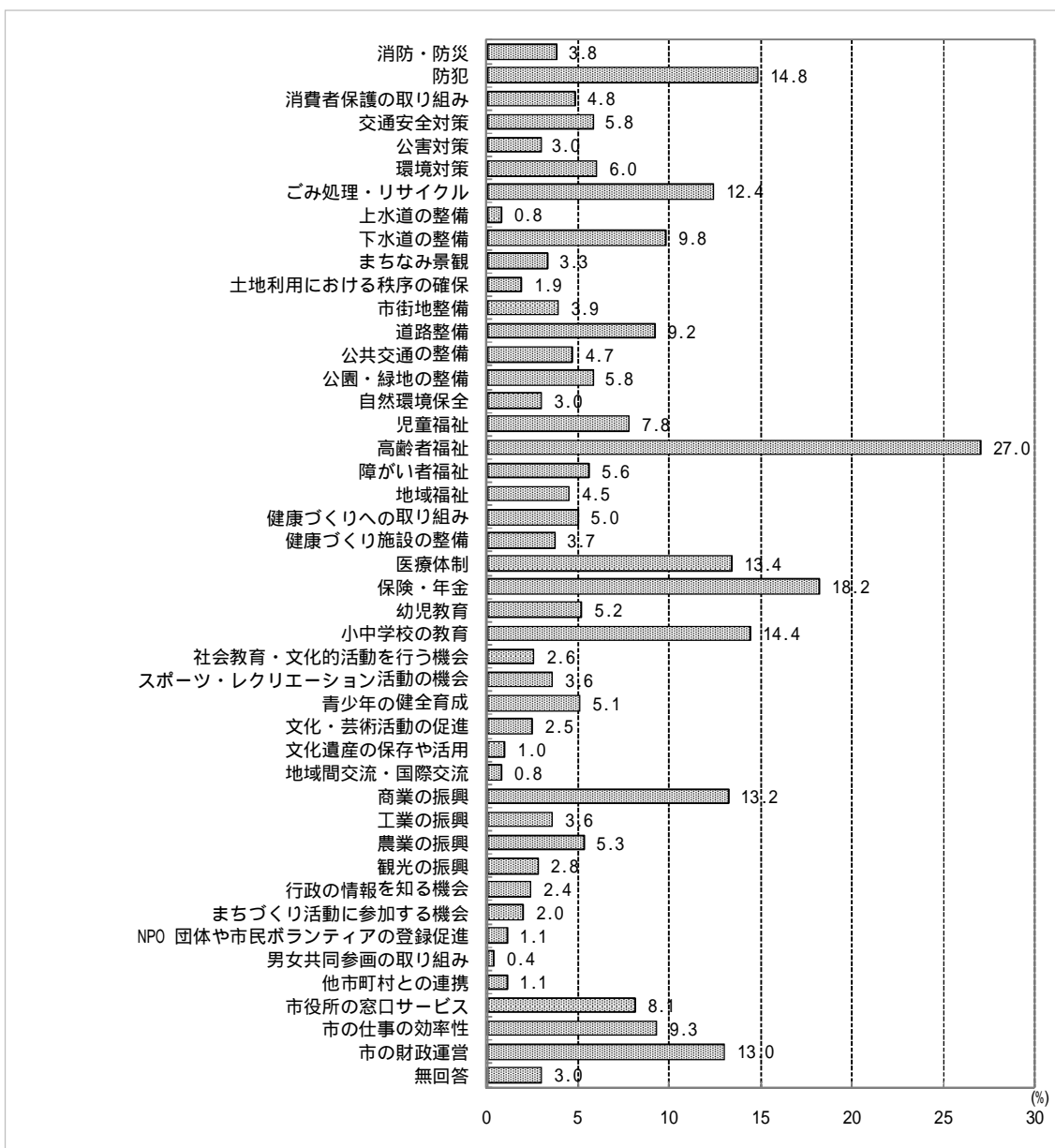
	南河内地区	石橋地区	国分寺地区
1位	高齢者福祉 27.2	高齢者福祉 27.0	高齢者福祉 24.6
2位	防犯 21.6	保険・年金 18.2	防犯 22.3
3位	市の財政運営 15.5	防犯 14.8	保険・年金 15.7
4位	保険・年金 14.4	小中学校の教育 14.4	市の財政運営 14.4
5位	医療体制 12.6	医療体制 13.4	小中学校の教育 12.8
6位	小中学校の教育 11.7	商業の振興 13.2	商業の振興 12.3
7位	市の仕事の効率性 11.6	市の財政運営 13.0	医療体制 11.9
8位	ごみ処理・リサイクル 10.0	ごみ処理・リサイクル 12.4	ごみ処理・リサイクル 10.6
9位	公共交通の整備 9.0	下水道の整備 9.8	市の仕事の効率性 10.6
10位	道路整備 8.6	市の仕事の効率性 9.3	道路整備 8.4

図8-3(1) 地区別にみた今後力を入れて欲しい行政施策(南河内地区)(複数回答)



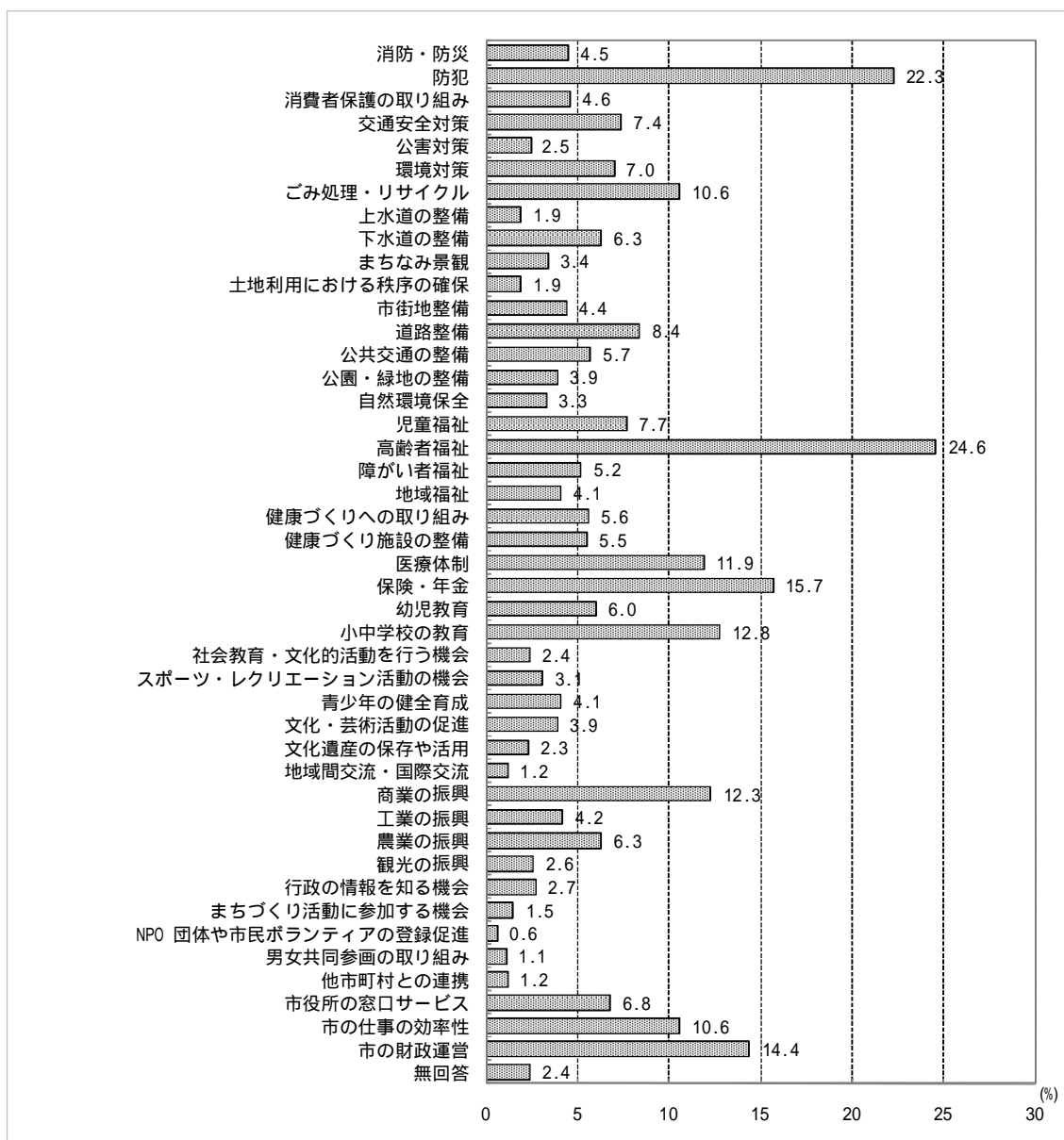
(n= 1,246)

図8 - 3 (2) 地区別にみた今後力を入れて欲しい行政施策 (石橋地区)(複数回答)



(n = 1,267)

図8-3(3) 地区別にみた今後力を入れて欲しい行政施策(国分寺地区)(複数回答)



(n= 1,059)

F 自由回答

問9 . 市の行政施策についての自由なご意見・ご提案

下野市の行政施策について、ご意見・ご提案をうかがったところ、全体で 1,396 件の意見が寄せられました。

小学校教育や生涯学習の充実といった学びや文化に関する意見、道の駅への期待や商業の振興、下野市の PR といった産業や観光に関する意見、公共交通の整備や豊かな自然の保全といった都市と田園の共生に関する意見、子育て支援や高齢者支援など福祉・保健・医療に関する意見、ごみ対策や街路灯の設置など安全・安心な生活基盤に関する意見、行政サービスの向上やボランティア団体との協働、新市庁舎建設など市民と行政の共同に関する意見と、全てのまちづくりの推進分野についての意見・提案がみられました。

各分野の中の傾向をみると、教育や文化・スポーツ・交流分野では、小中学校教育への期待（教育の質の向上、校舎の充実等）が多く聞かれました。また、市民の一体感を生み出すため、市全体でのお祭りを開催すべきといった意見がみられました。

産業分野では、地産地消の推進など農業の振興に関するもの、商業施設の整備や駅前のにぎわい創造といった商業の振興に関するもの、道の駅に対する期待や下野市の知名度を全国的に上げるための PR をすべきといったシティ・セールスに関するものなど多岐にわたりました。また、若者の就労の機会の確保に対する意見も多くみられました。

都市基盤の分野では、公共交通（巡回バス等）についての声が多くなっています。利用者の少ないバス路線は廃止すべきといった声がある一方で、病院等に通う路線のミニバス（コミュニティバス）の必要性については、多くの意見が寄せられました。道路の整備については、地域間での進捗度の乖離の是正を求める意見がみられました。

福祉・保健医療分野では、子育て環境・保育と高齢者福祉についての意見・要望が最も多く、医療の充実、特に予防医療や検診についての意見が寄せられました。

安心・安全な生活環境の分野では、街路灯の整備を求める意見・要望がもっとも多く、続いてごみ（ごみの出し方、ごみ袋等） まちなみ・景観、騒音・悪臭といった公害についての声も多く寄せられていました。

行政分野では、行財政改革と職員の対応（窓口サービスの向上、行政サービス拠点の増設等）について言及したものが多くなっていました。行財政運営の充実を図るものとして、新市庁舎建設に関する意見が寄せられました。また、合併に伴う事項として、市民意識の一体化に関する意見がみられました。

各分野における回答の主なものは、以下のとおりでした。

<次代を担う人材の育成>

- ・ 学校の施設が古い。冷暖房を導入したほうがよい。
- ・ 各小中学校の学力や指導に差があるように感じる。
- ・ 小中学生の社会教育・文化活動等、いろいろな体験ができる機会を増やしてもらいたい。
- ・ 家庭教育から学校教育、地域の人々の教育力など総合的にしていかないと思うようにはいかないと思う。
- ・ 学童保育利用の無料化を考えてほしい。
- ・ 遊び場、練習場、親子のキャッチボール場として、学校の校庭を自由に使用させて欲しい。

<生涯にわたる学びの機会の充実>

- ・ 図書館の交通の利便性が悪い。駅に近い場所に図書館を建てて欲しい。
- ・ 図書館は、単に本を貸し借りする場ではなく、文化・芸術活動や情報発信の拠点となり、さらに地域コミュニティの核となる場ともなる、多様な可能性を持った行政施設である。
- ・ 公民館を利用しますが、カーテン、イス、電気その他、机を修理する必要があると思います。
- ・ 青少年の活動の場が少ない。
- ・ 下野市は若者から高齢者までスポーツが盛んです。
- ・ 気軽に参加できるスポーツイベントを実施して欲しい。

<豊かに暮らす文化の振興>

- ・ 旧3町が一緒に活動する機会が少ないように思います。一緒にやれるイベントが増えていくとよい。たとえば、文化祭、運動会、演芸会、スポーツ大会など。
- ・ 三町合併後もどことなく別々な感じが取れてない感じがする。文化活動や地域活動をするときに、地区の違う施設が使いにくい。
- ・ 下野薬師寺跡や国分寺跡、尼寺跡等、文化遺産があるのにPR不足のためか、県内でも知らない人が結構多い。
- ・ 旧石橋町とのつながりで、ドイツとの国際交流が行われていることと思います。親善交流だけではなく、ドイツの教育を見て、下野市でも人数を減らし目が届いた教育を行なうとか、市政に反映していかないとただの税金の無駄使いになってしまうと思います。

<大都市近郊農業の振興>

- ・ 農業のまちである下野は、もっと農業に力を入れて行くべきで、そこで他市町村と差別化を図るべきと思う。

- ・ 農家の後継者として一生懸命頑張っている立派な青年が大勢いますが、お嫁さんの候補者がいないために悩んでいます。この問題は、これから先の農業に関しても大事なことと思います。
- ・ いちごは他県も有名ですが、「かんぴょう」をもっと宣伝すべきです。
- ・ 学校給食もできるだけ地産地消にしてもらいたい。
- ・ 農業・工業・商業が三位一体となった取り組みが今後必要だと思えます。時代にあったクロスカルチャーで、下野市から何かが始まることを期待します。

<工業・商業の振興>

- ・ 自治医大駅前だけでなく、石橋駅・小金井駅前の商業等の振興を期待します。せっかくJRが停車するのだから、もし小売店や飲食店があれば人も集まると思えます。
- ・ 年寄りの買い物が一番困っています。小さなスーパーを作ってもらいたい。
- ・ 工場誘致を図り、法人税等の確保を行うべきである。また、雇用を確保できるよう進めて欲しい。
- ・ 何度も派遣切りにあい、仕事も家も失う状況をなくして欲しい。仕事も生活も安定したい。
- ・ 下野市内の雇用をもっと促進してもらいたい。地元に戻りたくても帰れないのが実情です。

<シティ・セールスの推進>

- ・ 道の駅の完成で市が活性化されることを期待しています。折角作るのだから、下野市を全国に売り出すくらいの心意気で作って欲しい。
- ・ 道の駅もわざわざ新4号線を降りて買い物をする人達ばかりいないと思います。石橋からは遠すぎて、買いに行きたくても行けません。
- ・ 観光に力を注ぎ、人を集める施策を積極的に行うべき。
- ・ 旧3町にはそれぞれ誇れる自然・文化・歴史があります。それを維持し次世代に伝え続けることで、他地域にない良い観光へとつながります。
- ・ 下野市の宣伝が下手なので「しもつけし」と読める人が少なく、みんな「しものし」と言う。下野市の名前が知られるよう、もっとPRをして下さい。

<秩序ある土地利用と快適な住環境づくり>

- ・ 小金井や石橋の駅周辺はとても寂しい印象です。下野市全体をもっと元気にするためにも、駅前周辺の対策は必要かと思えます。
- ・ 区画整理事業は時代から遅れてしまっているので、最少限に変更すべきです。
- ・ 南河内や仁良川地区の区画整理が進んでないことが気になります。早急に行って頂きたい。

- ・ 公園の木や街路樹を丸坊主に切ってしまうのが問題である。
- ・ 道路の街路樹や垣根のところが草だらけで、植木か草かわからない状態になっている。除草が遅い。

<人に優しい交通環境の整備>

- ・ 公共施設や医療機関スーパー等の利用がしやすくなるよう対策をして欲しい。車に乗れなくなった時のことを考えると不安です。コミュニティバス(ミニバス)を提供して欲しい。
- ・ きらら館やふれあい館に行く無料のバスはいつ見ても乗客が数人で、ほとんど乗っておらず税金の無駄のように思います。
- ・ 道路が何年も半分がアスファルト、半分が砂利道となっています。砂利が車から飛ばされ多大な被害を受けています。やりかけた道路の整備を早目に完成させて欲しい。
- ・ 小中高生が通う通学路の歩道の整備の強化をお願いしたい。危険だと思う場所が多々あります。
- ・ 道路整備に関してですが、優先順位を間違えているのではないかと思う地域がある。もっと先にやる地域があると思います。

<うるおいのある緑環境の整備>

- ・ 他市にくらべると公園等が整っていますが、残念なのは車で行かないといけない距離にあり、住んでいる周辺には無いということです。
- ・ 子供達が安全に遊べる公園、ボール遊びや野球など、のびのび遊べる公園などが少なすぎる。
- ・ 自然に恵まれた環境を生かして欲しいと思います。川や自然が汚れているのは気分が悪いです。欲ばったりせず、下野市は下野市なりにやっていけば良いと思います。
- ・ 豊かな農村風景が続くようにして下さい。
- ・ 合併して施設の管理が非常に悪くなった。特に公園、運動施設の管理は悪い。

<生涯健康のまちづくり>

- ・ 現代は予防医学の時代と認識し力を入れてもらいたい。40才以下の若い世代への健康診断の内容があまりにもお粗末である。また、子宮頸ガンの予防接種の無料受診対象者の範囲を中学生までにして欲しい。
- ・ 自治医大という大きな病院があるのに、緊急時に受け入れ拒否をすることが多い。紹介状があっても、診察券がないと断られる。
- ・ 医療体制は非常に安心できる。医療体制の充実ぶりは、他自治体と比較してもかなり高いレベルにあると思うが、あまり行政でアピールできていないと思う。
- ・ 下野市内に3つの温泉は不用だと思います。税金の無駄。特定の人利益供与や一部の人

の利便性のためだけに公共施設を存続させるべきではありません。

- ・ 高齢となり身体機能が低下した際に、不安なく暮らせるようなまちづくりをお願いしたい。例えば、道路の段差をなくし外出しやすい整備を行うなど。

< 支え合いのまちづくり >

- ・ 市内に保育園の待機児童が多すぎて、共働きの家が保育園に子供を預けられない状況が続くのは、市にとって良くない状況だと思います。
- ・ 保育園で7時、8時まで預っていただけるのに、学童保育では6時まででは早すぎます。
- ・ こども医療費は、なぜ3歳からいったん窓口で支払って、後から役場で請求しないと戻ってこないのでしょうか。現物支給になったら良いと考えています。平日役場に申請に行くのが難しいのが現状です。
- ・ 子育て支援等（生まれてきた子ども達への支援は多くみられるが）は多く見られるが、子どもを生みやすい支援の充実が不足しています。子どもを生みたくても生めない人達への支援を充実して欲しい。
- ・ 高齢者の施設をもっとたくさん作って欲しい。元気で利用できる福祉サービスを充実して、長生きできるよう社会参加の楽しみを作って欲しい。
- ・ シルバーに登録しても、順番待ちで仕事がこないと聞きます。何とかして老人パワーを発揮できる対策が必要です。

< 保険・年金の充実 >

- ・ 年金について市民に不安をあたえないような施策をして欲しい。年金生活は食べて行くのが大変です。
- ・ 健康保険税は前年所得+資産になっていますが、年金生活になると収入が減るので、資産割を含まないで欲しいです。

< 快適な環境の創造 >

- ・ ゴミ袋をもう少し使いやすい物にしてほしい。燃やせるゴミを捨てる紙袋は、コストがかかるうえ、生ごみが浸みることもあるので、燃やしても有害なガスが出ないようなナイロン袋で出したい。
- ・ ゴミの分別が煩雑で難しい。ゴミの分別回収方法を簡素化して欲しい。細かく分別するのなら、ゴミ収集の日をマメにすべき。
- ・ 市独自でゴミ処理場ができる施設を建設する。
- ・ 工場からの悪臭、野焼きやゴミを燃やす臭いがある。また、公園はペット（犬）公害が非常に多い。
- ・ 公営墓地の造成をお願いしたい。

<安心・安全なまちづくり>

- ・ 中学生などは部活動等で帰宅時間が遅いので、街灯をもっと設置して欲しい。夜非常に暗く不安を感じる所が多くある。駅前ばかりではなく住宅街にも取り付けて欲しい。以前チカンが多発したことがありました。
- ・ 市内で起きた犯罪について、市民が迅速に知ることができるようなになればいいと思います。近所で起きた空き巣のような事件でも、犯罪に対する情報が知らされないのが実情です。
- ・ 救急車や消防車が石橋から来ると遠すぎます。

<快適な水環境の形成>

- ・ 大雨が降ると、道が川になるのが悩みです。車が通れなくなるほどです。
- ・ 上下水道が完備されていない地区に住んでいるので不便。
- ・ 下水道が整備されたが、個人でドロを取っても限界があり、側溝の「ふた」は取れず、匂いが出て困っています。定期的な清掃で水が流れる環境にして下さい。
- ・ 下水道料金が南河内、石橋、国分寺で違うのはおかしい。合併したのだから一律料金とすべきと考えます。

<協働のまちづくりの推進>

- ・ 市民活動・ボランティア活動を多く取り入れ、増税につながるようなことはやめてもらいたい。市民が参加しやすい方法で提案すれば、協力したいと思っている元気な人々はいらぬのではないかと思う。市民活動・ボランティア活動を推進することで、コミュニティも活発になると思われる。
- ・ 市内の至る所にアパート・マンションが乱立し、アパート等の住民と近隣住民との交流が無く、近隣住民は防犯に注意している状態です。
- ・ 今回のアンケートの調査のように、一般市民も美しい住みやすい特徴のあるまちづくりに何かの形で参加できるような機会は必要だと思います。
- ・ 行政の情報公開を進めて欲しい。

<行財政運営の充実>

- ・ 市の活動に魅力がないのは、窓口での対応、その奥の職場の乱雑さ、職員のレベルの低さなどが原因だと思います。
- ・ 3町合併により、単純計算で職員数が3倍になったと思うが、仕事量まで3倍になったとは思えない。行政のスリム化が進むと期待したのに全く進んでいない。職員数は仕事量にあった人数に削減すべき。
- ・ 庁舎を早く建設し、すべての行政機関を集中し、市民として安心して生活できるようお願いします。

- ・ 借金があるのに、どうして市庁舎を新しく建築するのでしょうか。市の財政が破たんしないように、また将来にかけて多額の負担とならないように、ハコものづくりの施策は考え直して頂きたい。今までの3つの庁舎を引き続き使えばよい。
- ・ 合併により、行政部署が各地区に分かれてしまっているの、どこで何を担当しているのか、わかりやすくしてほしい。
- ・ 広報「しもつけ」を愛読しています。一般の市民は視野が狭く、目先のことに捕らわれ市政のことには関心も薄くなります。
- ・ 市長とのトークは、企画は良いけれども形だけに過ぎない。市民が悩んでいることに対して冷たい。
- ・ 議員数を削減する。または、議員の給料は廃止し日当制にする。先進地を視察して下さい。不満がある人は議員になる必要はない。

< 広域行政の充実 >

- ・ 長期計画や箱物建設は道州制移行を前提に慎重に検討されたい。
- ・ 中途半端な施設が3か所に分散しているのは、無駄で魅力がありません。他市と協同で施設を利用することも良いと思います。

< その他（合併の効果、市の一体感） >

- ・ 合併後に固定資産税や水道料金が値上がりしたが、サービスの向上は実感できていない。何か前よりも良くなったこと（もの）が実感できることが必要だと思う。
- ・ 合併に伴い各種メリットが減少した感がある。郷土愛（親近感）が減少した。
- ・ 三町が合併して「何のための合併だったのか」と思っていました。最近旧三町の壁が少し低くなった気がします。
- ・ 自治医大周辺を中心に集約的なまちづくりを進めることで、合併のメリットを生かした行政を進めてほしい。
- ・ 旧地区への我田引水の感がまだまだ多いように見受けられる。
- ・ 合併してから数年経つが、市としての一体性をほとんど感じない。市全体をあげてのイベントや行政サービスの拡充などできないものか。

自由回答まとめ（1,396件）

分野	項目	件数	計
みんなで学び文化を育むふれあいのまちづくり	次代を担う人材の育成	82	181
	生涯にわたる学びの機会の充実	46	
	豊かに暮らす文化の振興	53	
知恵と意欲で創造性豊かなまちづくり	大都市近郊農業の振興	23	185
	工業・商業の振興	103	
	シティ・セールスの推進	59	
都市と田園が共生する快適な環境で躍進するまちづくり	秩序ある土地利用と快適な住環境づくり	89	319
	人に優しい交通環境の整備	171	
	うるおいのある緑環境の整備	59	
安心して暮らせる健康で明るいまちづくり	生涯健康のまちづくり	74	229
	支え合いのまちづくり	140	
	保険・年金の充実	15	
	消費生活の向上	0	
豊かな自然と調和した快適で安全なまちづくり	快適な環境の創造	80	197
	安全・安心なまちづくり	68	
	快適な水環境の形成	49	
市民と行政の協働による健全なまちづくり	協働のまちづくりの推進	43	441
	行財政運営の充実	394	
	広域行政の充実	4	
その他		105	105
合計			1,657

（注）1件の回答票で複数の意見が寄せられているため、意見の合計件数と回答件数は一致しない。

参考：調査票

「下野市総合計画後期基本計画策定に係る

市民意識調査」のお願い

市民の皆さまには、日ごろより市政全般にわたり、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

このたび、平成24年度以降4年間の施策の方向を定める「総合計画後期基本計画」を策定するにあたり、市民の皆さまのご意見をお聞きするため、市民意識調査(市民アンケート調査)を実施することといたしました。

この意識調査は、市内にお住まいの20歳以上の方から1万人を無作為に抽出し、送付させていただいております。

調査結果はすべて統計処理され、回答者ご自身にご迷惑をおかけすることは一切ありませんので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

平成22年8月17日

下野市長 広瀬 寿雄

「下野市総合計画後期基本計画策定に係る市民意識調査」調査票

市民意識調査ご回答に当たって

総合計画とは・・・

総合計画は、下野市の将来のあるべき姿(将来像)を掲げ、長期的な視点で体系的、計画的に事業を進めていくための計画で、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されています。

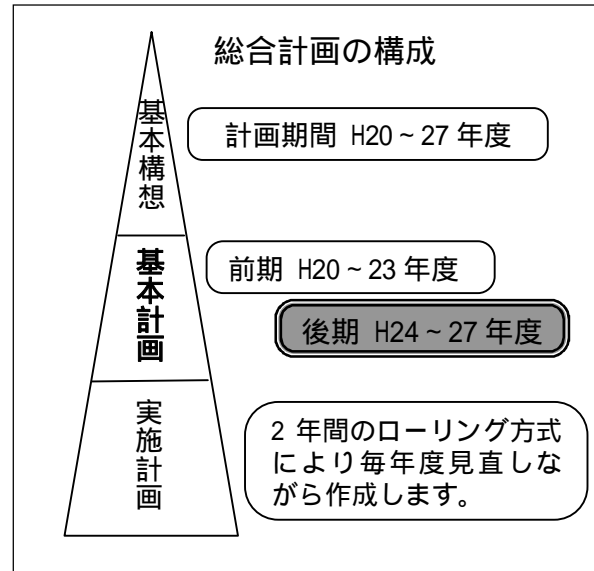
基本構想 ... まちづくりの基本理念、将来都市像とそれを達成するために必要な施策の大綱を明らかにするものです。

基本計画 ... 基本構想に示された施策大綱に従って、施策の目的や方針、主要事業などを明らかにするものです。

実施計画 ... 基本計画で示した施策の目的を達成するために必要な主要事業を明らかにするものです。

今年度から策定する後期基本計画(計画期間:平成24年度から27年度までの4年間)では、基本構想の考え方(施策大綱)を受けて、平成24年度からの4年間に下野市で実施していく施策の内容を明らかにすることを目的としています。

この市民意識調査で得られた多くのご意見は、後期基本計画の策定に反映されます。



調査票の記入方法について

- 宛名のご本人がお答えください。
- 住所・氏名の記入は必要ありません。
- 記入につきましては、鉛筆、ボールペン等で結構です。回答に当てはまる項目を選び、その番号を で囲んでください。「その他」を選んだ方は()内に、その内容を具体的にお書きください。質問により、回答を1つだけ選んでいただくものと、複数(3つまで)選んでいただくものがあります。また、直接、ことば・文章でご記入いただくものもありますので、各設問にお示した方法でご回答ください。
- ご記入いただきました調査票は、8月31日(火)までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにお出してください。
- 記入方法や調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

下野市総合政策室政策推進グループ 担当: 金田・古口(貴)

電話: 0285-40-5550 電子メールアドレス: sougouseisaku@city.shimotsuke.lg.jp

A あなたにとっての本市の暮らしやすさについておたずねします

問1 あなたにとって、下野市は暮らしやすいまちですか。次の中から1つ選び、その番号を
で囲んでください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 暮らしやすい | 2. どちらかという暮らしやすい |
| 3. どちらかという暮らしにくい | 4. 暮らしにくい |
| 5. どちらともいえない | |

問2 下記の項目について下野市の現状をどのようにお感じですか。あなたのお気持ちに
最も近いものをそれぞれ1つ選び、その番号を で囲んでください。

項 目	そう 思う	やや そう思う	どちらで もない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
1. 子育て環境、教育環境が充実している	5	4	3	2	1
2. 生涯を通して学習できる環境にある	5	4	3	2	1
3. 文化や芸術に触れる機会に恵まれている	5	4	3	2	1
4. 地元の農業生産者が活発に活躍している	5	4	3	2	1
5. 商店や飲食店が魅力的である	5	4	3	2	1
6. 不安なく消費生活が送れる	5	4	3	2	1
7. 市内企業の事業活動が活発である	5	4	3	2	1
8. 市街地が整備され、景観が美しい	5	4	3	2	1
9. 上下水道などの基盤整備がよい	5	4	3	2	1
10. 交通の便がよい	5	4	3	2	1
11. 河川や平地林、公園・緑地など自然環境が豊かである	5	4	3	2	1
12. 公害が少なく、環境保全ができています	5	4	3	2	1
13. 医療や福祉環境が充実しており、健康に暮らせる	5	4	3	2	1
14. 災害、犯罪が少なく安全・安心である	5	4	3	2	1
15. 地域のまちづくり活動が活発である	5	4	3	2	1
16. 本市が他地域の人々に認知されている	5	4	3	2	1
17. 行政サービスが充実している	5	4	3	2	1

B あなたからみた本市の長所・特徴についておたずねします

問3 あなたからみて下野市には、他地域の人々に対して誇れるところがありますか。次の中から1つ選び、その番号を で囲んでください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 誇れるところが数多くある | 2. 誇れるところが少しはある |
| 3. 誇れるところがほとんどない | 4. 誇れるところがない |
| 5. どちらでもない | |

問4 次に挙げる下野市の特徴的な活動や資源などは、他地域の人々に対して誇れるものですか。あなたのお気持ちに最も近いものをそれぞれ1つ選び、その番号を で囲んでください。

項 目	そう 思う	やや そう思う	どちらで もない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
1. 下野薬師寺跡、下野国分寺跡等の文化遺産や歴史関連のイベント	5	4	3	2	1
2. ドイツ・ドイツヘルツタールとの国際交流や高松市との地域間交流	5	4	3	2	1
3. かんぴょうやいちご等の特産品	5	4	3	2	1
4. 農産物の地産地消	5	4	3	2	1
5. 本場結城紬やふくべ細工等の工芸品	5	4	3	2	1
6. 自治医大駅前等の商業・サービスの集積	5	4	3	2	1
7. 自治医科大学附属病院をはじめとする高度医療の集積	5	4	3	2	1
8. 平地林等の自然や田園風景	5	4	3	2	1
9. 天平の花まつり・菊まつり、芋煮会等の季節のイベント	5	4	3	2	1

問4 - 1 上記に挙げた項目以外で、あなたが他地域の人々に対して誇れるものがあれば、ご記入ください。

C これまでの市（行政）の取り組みに対するあなたの満足感をおたずねします

問5 次の項目について、日常生活においてどの程度の満足感をお持ちでしょうか。あなたのお気持ちに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を で囲んでください。

項 目		満足	やや満足	普通	やや不満	不満
生活基盤	1. 消防・防災	5	4	3	2	1
	2. 防犯	5	4	3	2	1
	3. 消費者保護の取り組み	5	4	3	2	1
	4. 交通安全対策	5	4	3	2	1
	5. 公害対策	5	4	3	2	1
	6. 環境対策	5	4	3	2	1
	7. ごみ処理・リサイクル	5	4	3	2	1
	8. 上水道の整備	5	4	3	2	1
	9. 下水道の整備	5	4	3	2	1
都市基盤	10. まちなみ景観	5	4	3	2	1
	11. 土地利用における秩序の確保	5	4	3	2	1
	12. 市街地整備	5	4	3	2	1
	13. 道路整備	5	4	3	2	1
	14. 公共交通の整備	5	4	3	2	1
	15. 公園・緑地の整備	5	4	3	2	1
	16. 自然環境保全	5	4	3	2	1
福祉保健医療	17. 児童福祉(保育園、各種手当等、子育て支援など)	5	4	3	2	1
	18. 高齢者福祉(在宅サービス、介護保険、生きがいづくり)	5	4	3	2	1
	19. 障がい者福祉(在宅サービス、社会参加)	5	4	3	2	1
	20. 地域福祉	5	4	3	2	1
	21. 健康づくりへの取り組み	5	4	3	2	1
	22. 健康づくり施設の整備	5	4	3	2	1
	23. 医療体制	5	4	3	2	1
	24. 保険・年金	5	4	3	2	1

教育文化	25. 幼児教育	5	4	3	2	1
	26. 小中学校の教育	5	4	3	2	1
	27. 社会教育・文化的活動を行う機会	5	4	3	2	1
	28. スポーツ・レクリエーション活動の機会	5	4	3	2	1
	29. 青少年の健全育成	5	4	3	2	1
	30. 文化・芸術活動の促進	5	4	3	2	1
	31. 文化遺産の保存や活用	5	4	3	2	1
	32. 地域間交流・国際交流	5	4	3	2	1
産業	33. 商業の振興	5	4	3	2	1
	34. 工業の振興	5	4	3	2	1
	35. 農業の振興	5	4	3	2	1
	36. 観光の振興	5	4	3	2	1
行政	37. 行政の情報を知る機会(広報・広聴の充実など)	5	4	3	2	1
	38. まちづくり活動に参加する機会	5	4	3	2	1
	39. NPO 団体や市民ボランティアの登録促進	5	4	3	2	1
	40. 男女共同参画の取り組み	5	4	3	2	1
	41. 他市町村との連携	5	4	3	2	1
	42. 市役所の窓口サービス	5	4	3	2	1
	43. 市の仕事の効率性	5	4	3	2	1
	44. 市の財政運営	5	4	3	2	1
	45. 市(行政)の取り組み全般の総合評価(上記1～44の全体評価)	5	4	3	2	1

D 今後の行政と市民との関係のあり方についておたずねします

問6 あなたは、公共サービス(福祉、教育、基盤整備など)を受けるなどの「権利」と、市民としての「義務」との関係についてどのようにお考えになりますか。次の中からあなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、その番号を で囲んでください。

1. 税金や公共料金を極力安くして、公共サービスを負担額に見合ったサービス内容にするべき
2. 税金や公共料金が多少高くなっても、公共サービスを充実させていくべき
3. 公共サービスの一端を市民やボランティアが担うことによって、税金などの負担を軽減すべき
4. 公共サービスの一端を市民やボランティアが担うことによって、余ったお金や人材を新たな公共サービスに振り向けるべき
5. 一概には言えない・わからない

問7 ボランティアやコミュニティ活動について、あなたはどのような活動に力を注いでいきたいと考えますか。次の中から関心のあるものを3つ以内を選び、その番号を で囲んでください。

1. 社会貢献活動(ボランティア・コミュニティなど)に参加する
2. 地域社会(自治会・PTAなど)の活動に参加する
3. 市民の自主的な集まり(まちづくりのグループ等)があれば参加する
4. 自分と異なる世代(幼児・子ども・お年寄りなど)と交流する
5. 自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ
6. とくにやりたいことはない
7. その他(具体的に)
8. わからない

E 今後の市（行政）の取り組みについておたずねします

問8 あなたは行政施策のうち、どの項目に力を入れて欲しいと思いますか。次の1～44の項目の中から適当と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

生活 基盤	1. 消防・防災	教育 文化	25. 幼児教育
	2. 防犯		26. 小中学校の教育
	3. 消費者保護の取り組み		27. 社会教育・文化的活動を行う機会
	4. 交通安全対策		28. スポーツ・レクリエーション活動の機会
	5. 公害対策		29. 青少年の健全育成
	6. 環境対策		30. 文化・芸術活動の促進
	7. ごみ処理・リサイクル		31. 文化遺産の保存や活用
	8. 上水道の整備		32. 地域間交流・国際交流
	9. 下水道の整備		33. 商業の振興
都市 基盤	10. まちなみ景観	産業	34. 工業の振興
	11. 土地利用における秩序の確保		35. 農業の振興
	12. 市街地整備		36. 観光の振興
	13. 道路整備		37. 行政の情報を知る機会
	14. 公共交通の整備	行政	38. まちづくり活動に参加する機会
	15. 公園・緑地の整備		39. NPO 団体や市民ボランティアの登録促進
	16. 自然環境保全		40. 男女共同参画の取り組み
福祉 保健 医療	17. 児童福祉		41. 他市町村との連携
	18. 高齢者福祉		42. 市役所の窓口サービス
	19. 障がい者福祉		43. 市の仕事の効率性
	20. 地域福祉		44. 市の財政運営
	21. 健康づくりへの取り組み		
	22. 健康づくり施設の整備		
	23. 医療体制		
	24. 保険・年金		

は1～44の中から3つ以内でお願いします。

F あなたの自由なご意見をお聞かせください

問9 下野市の行政施策について、ご意見・ご提案がございましたら下欄にご記入ください。

--

G あなた自身のことについておたずねします

問10 あなたの性別をお答えください(番号を で囲んでください)。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問11 あなたの年齢をお答えください(番号を で囲んでください)。

1. 20歳代	2. 30歳代
3. 40歳代	4. 50歳代
5. 60歳代	6. 70歳以上

問12 あなたはどちらにお住まいですか(番号を で囲んでください)。

1. 南河内地区	2. 石橋地区	3. 国分寺地区
----------	---------	----------

問13 あなたが、現在の地区にお住まいになっている年数(転居されたことのある方は通算の年数)をお答えください(番号を で囲んでください)。

1. 5年未満	2. 5年以上10年未満
3. 10年以上20年未満	4. 20年以上30年未満
5. 30年以上	

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒を使用し、**8月31日(火)まで**にポストにご投函ください(切手を貼る必要はありません)。